

mitsubishi

三菱液晶ディスプレイ

Diamondcrysta WIDE

RDT232WX シリーズ

RDT232WX-S シリーズ
(AX925)

取扱説明書



HDMI[®]
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全のために必ずお守りください」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「セットアップガイド」は「保証書」・「ユーティリティディスク」と共に大切に保管してください。
- 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。→P6, 16, 52 参照
- この取扱説明書内のURLをクリックするとウェブサイトへリンクします

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

P2 もくじ

P3 ご使用の前に

P5 安全のために必ずお守りください

P8 使用上のお願い

P10 各部のはたらき

P14 使用の準備

P29 機能

P43 困ったとき

P50 付録

「ディスプレイ」のホームページ：www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内
ご注意：法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。
ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ホームページからお申し込みください。（画面の「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。）

www.pc-eco.jp

ご使用の前に

ご使用の前に	3
何ができるの？	3
付属品の確認	4
本書の見かた	4

安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください	5
-----------------	---

使用上のお願い

使用上のお願い	8
ディスプレイの上手な使い方	8

各部のはたらき

各部のはたらき	10
本体正面	10
本体背面/側面	11
リモコン	12
リモコンの取り扱い	13

使用の準備

使用するための流れ	14
-----------	----

[準備1] ディスプレイを組立てる	15
スタンドを組立てる	15
完成したスタンドを本体に取り付ける	15
ブロックネックスタンドの特長	16

[準備2] スタンドの後部ベースを 取り外し壁に寄せる	16
--------------------------------	----

[準備3] ディスプレイとコンピューター (PC) (以下コンピューターとPCIは同義語として使用する) を接続する	17
1台のコンピューターを接続	17
2台のコンピューターを接続	17
3台～4台のコンピューターを接続	18
コンピューターのオーディオ出力端子 と接続	19

[準備4] ディスプレイとAV機器を 接続する	20
----------------------------	----

[準備5] ヘッドホンを接続する	21
------------------	----

[準備6] 電源コードを本機に接続する	22
---------------------	----

[準備7] ケーブルをまとめる	22
-----------------	----

[準備8] 電源プラグのアースリード線 を接続する	23
------------------------------	----

[準備9] 電源プラグをAC100V電源 コンセントに接続する	23
------------------------------------	----

[準備10] 設置する	24
-------------	----

[準備11] 画面の角度を調節する	24
-------------------	----

[準備12] 画面調節 オートセットアップをする (D-SUB入力するとき)	25 26
--	----------

[準備13] Windows® セットアップ情報	27
-----------------------------	----

[準備14] 省エネ設定をする	28
ECO設定の変更	28
ECOメーターの表示	28

機能

OSD画面の構成	29
OSDの基本操作	30
OSD機能一覧	31
OSD機能補足説明	38
工場プリセットタイミング	41
その他の機能について	42

困ったとき

故障かな？と思ったら	43
本機を廃棄するには（リサイクルに関する 情報）	48
リモコンのリチウム電池を廃棄するには	48
保証とアフターサービス	49
個人情報の取り扱い	49

付録

再梱包するとき	50
市販のアームを取り付けるとき	51
用語解説	53
仕様	56
さくいん	57

ご使用の前に

何ができるの？

動画、映像クッキリ、色ハッキリ

超解像（画像変換）技術 →P32,P55

超解像設定により、静止画/自然画および動画コンテンツをより解像度感を高めた画像に変換、美しい映像をご覧いただけます。
超解像レベルは、0%（オフ）～100%の10%ステップの10レベルからお好みの状態になるように設定可能で、DV MODE（動画、静止画）ごとに独立して調節することができます。

高品位液晶パネル

IPS方式液晶パネル搭載 →P56

視野角による輝度変化・色変化が少ない高品位な画像を映し出すIPS方式液晶パネルを搭載しました。

コンテンツに合った適切な画質を簡単に設定

DV MODE機能（Dynamic Visual MODE） →P32,P38

映画、TV、写真、文書など、表示する内容に合わせた適切な画質を6つのモードからお選びいただけます。

多彩な入力端子を装備

<PC接続> →P11,P17

ミニD-SUB15ピンコネクタ（アナログ接続）、DVI-Dコネクタ（デジタル接続）、HDMIコネクタ（デジタル接続）およびミニジャック（音声接続）を装備しています。

<AV接続>

HDMI入力端子 x 2装備 →P11,P20

2台のAV機器を市販のHDMIケーブルで接続することができます。

映像入力端子（D5端子）を装備 →P11,P20

AV機器のD端子出力を市販のD端子ケーブルで接続すると、AVタイミングの映像信号を表示することができます。

リモコンによる簡単操作

リモコン付属 →P12,P13

付属のリモコンでスイッチ操作が容易になりました。

精緻な階調表現力を生かした、高精度なガンマ補正

10ビットガンマ機能 →P53

きめ細かく、滑らかな階調表現を実現します。

クリアな高音質サウンド

DIATONE[®] リニアフェイズ技術 →P34

スピーカーから出力される音の周波数ごとの音圧や伝達時間などをリアルタイムに解析し、補正特性を加えるDIATONE[®] リニアフェイズ技術を採用。高音質なデジタル音声をクリアに再現します。

オーバースキャン

オーバースキャン機能搭載 →P32

AV信号を表示する場合、映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。
「オーバースキャン」の設定を変更することで、画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。

省エネで節約

明るさセンサー搭載 →P36

感知した室内の明るさに応じて、自動的に室内が明るい時は明るく、室内が暗い時は暗くなるように画面の明るさを調節します。
目の疲れを軽減し、消費電力も抑制することができます。

ECO Professional機能（ECO PROF.） →P28,P35

ECO設定にて使用時の消費電力を節電できるほか、ECOメーターで現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示するなど、省エネに配慮した設定をすることができます。

パワーマネジメント機能 →P42

スリープモードおよびオフモード時の待機電力は、0.5W以下です。

簡単カラーマネジメント

EASYCOLOR!3機能 →EASYCOLOR!3取扱説明書

付属のユーティリティディスク（CD）のEASYCOLOR!3ソフトを使って、画面表示色と付属の「ディスプレイ色調整用チャート」の写真の色イメージとを簡単に合わせることができます。
EASYCOLOR!3のソフトインストール方法は付属の「EASYCOLOR!3取扱説明書」をご覧ください。

もくじ

ご使用の

安全のため

使用上の

各部の

使用の

機能

困った


付録

解用説語

いさく

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

セットアップガイド 	EASYCOLOR!3取扱説明書 	色調整用チャート 	ユーティリティディスク（取扱説明書、テストパターン、EASYCOLOR!3 ソフト） 	リモコン（電池付き） 電池品名:CR2025 
電源コード AC100V専用  <p>本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。</p>	信号ケーブル DVI-D→DVI-D（デジタル接続用）  ミニD-SUB15ピン→ミニD-SUB15ピン（アナログ接続用） 	オーディオケーブル 	ベーススタンド 	ブロックネック（高さ調節用 3個） 
保証書（梱包箱に貼り付けてあります。）				

本書の見かた

本書の表記のしかた

- お願い**：取扱い上、特に守っていただきたい内容
- お知らせ**：取扱い上、参考にしていただきたい内容
- PXX**：参考にしていただきたいページ
- Win Mac**：Windows®とMacintosh両方に関わる内容
- Win**：Windows®のみに関わる内容
- Mac**：Macintoshのみに関わる内容

知りたいことを探すために

- やりたいことから探す→「何ができるの？」→P3
- 言葉と意味で探す→「用語解説」→P53
- もくじで探す→「もくじ」→P2
- さくいんで探す→「さくいん」→P57

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン」に適合しています。



本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準（★★☆ 2010年度版）を満たしています。
詳細は、Webサイト：www.pc3r.jpをご覧ください。



本製品は「J-Mossグリーンマーク・ガイドライン」に基づくJ-Mossグリーンマークを表示しています。
「J-Moss(JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況についての情報を公開しています。
詳細は、Webサイト：www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environmentをご覧ください。
形名： RDT232WX(BK)/RDT232WX-S(BK)

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

VISEO、Diamondcrysta、Diamondcrysta WIDE、DIATONE、ECO Professional、EASYCOLOR!は、三菱電機株式会社の登録商標です。



Microsoft、Windows Vista、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
MacintoshはApple社の米国等における登録商標です。

HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfacelは、HDMI Licensing LLC.の米国及びその他の国における商標または登録商標です。

その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわない		必ず指示に従っておこなう
	絶対に分解・修理・改造はしない		必ずアースリード線を接続する
	必ず電源プラグをコンセントから抜く		高圧注意（本体後面に表示）
	絶対に水にぬらさない		絶対に触れない
	絶対に濡れた手で触れない		挟みこみに注意する

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

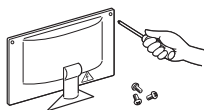


故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない



火災・感電の原因になります。

裏ぶたをはずさない



内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。

修理・改造をしない

けが・火災・感電の原因になります。



異物をいれない
特にお子さまにご注意

通風口などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因になります。



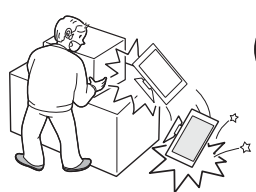
万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

風呂場や水のかかるところに置かない

水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。



キャビネットを破損したときは使わない



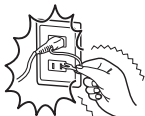
火災・感電の原因になります。

アースリード線を接続する

アースリード線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。アース接続は必ず電源プラグをコンセントに接続する前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。



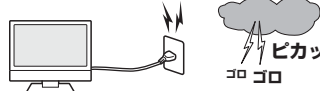
アースリード線を挿入・接触しない



電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない

感電の原因になります。



もくじ

ご使用の前に

安全のため

お取り扱いの

各部の

使用の

機能

困った

付録

解説

よく

警告

取扱いについて

ポリ袋で遊ばない 特にお子さまにご注意

本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。



禁止

本機にのったり、ぶら下がったりしない 特にお子さまにご注意

落下してけがの原因になります。



禁止

液晶を口にしない

液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。



警告

傾斜面や不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。



禁止

転倒・落下防止対策をおこなう。

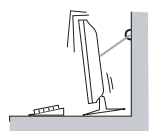
転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。全ての地震に対しての効果を保証するものではありません。



設置台を補強する



転倒・落下を防止する



丈夫な紐などで製品を壁とつなぐ

電源および電源コードについて

電源コードを傷つけない

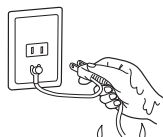


傷つけ禁止

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



ぬれ手禁止

電源プラグを奥までさしこむ

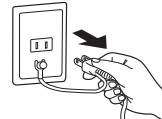
しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。



しっかり差し込む

電源プラグを持って抜く

コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。



プラグを持つ

お手入れの際は電源プラグを抜く

感電の原因になります。
During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.



プラグを抜く

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く

火災の原因となることがあります。



プラグを抜く

正しい電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。



正しい電源電圧で使用

一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。
AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。

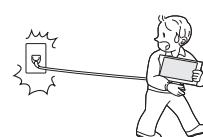
電源プラグのほこりなどは定期的にとる

火災の原因になります。
1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。 ほこりを取る



接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の原因になります。
電源プラグや機器間の接続線ははずしたことを確認の上、移動してください。



禁止

警告

万一、電池の電解液が身体に付着したときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す!!

手や体に付着した電池の電解液を放置すると、身体に障害が残る危険があります。
水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、異常を感じたら医師の診断を受けてください。

<p>電池は分解・加工・改造をしない 電池には電解液が入っています。 電解液が飛び出して手や体に付着すると危険です。 万一、付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い落としてください。 その後、医師の診断を受けてください。</p>	<p>電池を直接半田付けしない 半田付けすると電池が高温になり、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>
<p>電池を入れるときは、プラスとマイナスの向きを正しく入れる 逆に入れると電池の漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>	<p>取り出した電池は幼児の手の届くところに置かない リモコンのリチウム電池は、小さなボタン電池です。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。</p>
<p>正しい電池を使用する 本機のリモコンに下記以外の電池を使用すると、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。 ●使用電池：コイン型リチウム電池 品番 CR2025</p>	<p>電池をショートさせない 電池を保管・廃棄する時にショートさせると、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p> <p>保管時 金属や他の電池と接触してショートしないように、必ず端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。</p> <p>廃棄時 必ず端子部をセロハンテープなどで絶縁してから廃棄してください。廃棄する時は、自治体によって処理の仕方が異なりますので、その指示に従ってください。 (→P48 リモコンのリチウム電池を廃棄するには)</p>
<p>電池を充電しない 電池を充電すると、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>	<p>電池を高温・高湿の場所で使用や保管しない 直射日光が当たる場所や車内など高温になる場所や湿度が高い場所での電池の使用や保管は、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>

注意

設置のときは次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

<p>狭い所に置かない</p>	<p>あお向けや横倒し、さかさまにしない</p>	<p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p>
<p>布などで通風孔をふさがない</p>	<p>屋外での使用禁止 本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用するとう故障の原因となることがあります。</p>	<p>液晶パネル面を強く押さない 傷がついたり、破損してけがの原因になります。 持ち上げる際または運搬の際に、液晶パネル面に指をかけて強く押さないでください。</p>
<p>車載用禁止 車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p>	<p>スタンドに手を挟まない 角度調節時、取り付け、取り外し時に手を挟むとけがの原因になります。</p>	
<p>液晶パネルに衝撃を加えない 破損してけがや故障の原因になります。</p>	<p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</p>	

ディスプレイの上手な使い方

日本国内専用です

この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.



国内専用

For use in Japan only



上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～70cmはなれたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

長時間同じ画面を表示しない

長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ること（残像）がありますが故障ではありません。画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。



長時間同じ画面を表示しない

「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることをおすすめします。

1年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまったらまっ使うと、火災や故障の原因になります。



内部掃除

内部掃除は販売店にご依頼ください。



液晶ディスプレイを廃棄する場合

液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には水銀が含まれています。ご自身で廃棄しないでください。環境や健康に悪影響をあたえる原因になります。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。
（→P48 本機を廃棄するには）

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。



プラグを抜く

液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押しったりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようにご注意ください。



パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。（水、エタノール、イソプロピルアルコール）推奨以外の溶剤（酸、アルカリ、アセトン等）は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると製品を破壊する恐れがありますのでご注意ください。

キャビネットのお手入れ（光沢キャビネット以外）

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



光沢キャビネットのお手入れ

キャビネット光沢表面は少しの傷でも目立ちやすくなっています。お手入れは眼鏡レンズ拭きなどの柔らかい布のようなもの以外にはご使用にならないでください。専用のクリーニングクロスが同梱されている場合は、同梱のクロスをご使用ください。キャビネット光沢表面の変色を防ぐため、中性洗剤のご使用もご遠慮ください。



使用禁止

＜専用クリーニングクロスの取扱い上の注意＞

ホコリなどの汚れは、先に同梱のクロスの特起毛加工面（文字のある面）で軽くふき取った後、指紋や頑固な油膜をクロスの平織面（文字のない面）で軽くふき取ってください。同梱のクロスでも、強くふいたりこすったりすると傷が付くことがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。同梱のクロスに付いているホコリなどでの傷付きを防ぐため、ご使用後は必ず洗ってください。（柔軟剤や漂白剤などのご使用はご遠慮ください。）

キャビネットを傷めないために

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質したり、塗料がはげ原因となります。



使用禁止

（化学ぞうきんで使用の際は、その注意書きに従ってください。）また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器に影響のないところまで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

保管について

- 長期保管される場合は、電気的な性能を維持するために、定期的（6ヶ月に1回程度）に通電してください。
- 輸送・保管時には、水/ゴミ/ホコリや衝撃の保護のために、ご購入時の包装材（箱/袋/緩衝材）を使用されることをお奨めします。

液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。これは故障ではありません。本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

お知らせ

有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。

「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(subpixel)」となります。

つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかった場合は、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。硬いもので液晶パネルの表面を押したり、引っかいたりしないでください。

- お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

もくじ

ご使用に
前の

安全に
：全
：た
：の

お使用
：上
：の

各部の
：ら
：き

使用
：準
：の
：備

機能

と困
：つ
：た

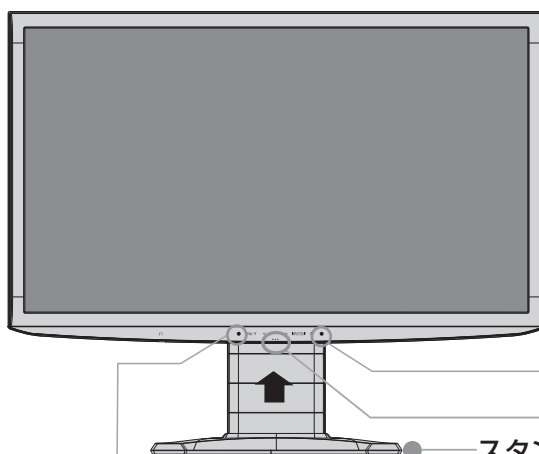
付録

解用
：説
：語

いさく

各部のはたらき

本体正面



リモコン受光部

電源ランプ

電源を入れたとき、青色に点灯します。
 パワーマネジメント→P42 機能が作動中は1秒間隔で点滅します。
 消画モード→P35 機能が動作中は2秒点灯1秒消灯の間隔で点滅します。
 電源ランプは、OSDのツール（LEDブライツネス調節機能）を使って→P36 明るさを調節できます。

スタンド

明るさセンサー

周囲の明るさを検知するセンサーです。
 明るさセンサー機能使用時に作動します。

お願い

明るさセンサー使用時には、障害物の影に入らないようにご注意ください。

ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続して使用できます。

電源スイッチ

電源をオン／オフします。

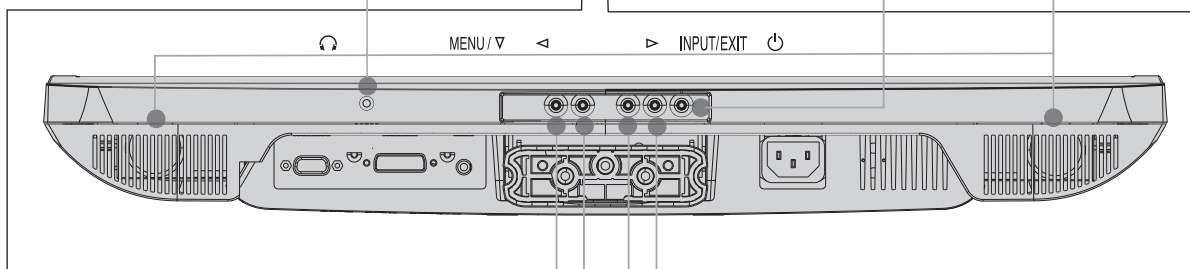
お願い

電源を短時間のうちに頻繁にオン／オフしないでください。
 故障の原因になることがあります。

お知らせ

付属のリモコンでもオン／オフできます。

底面視



スピーカー

MENU/▽ボタン

OSD画面が表示されていないとき
 OSD画面を表示します。
 OSD画面が表示されているとき
 縦方向の副項目メニューを選択します。

◀ボタン

OSD画面が表示されていないとき
 ブライツネス調節ができる状態になります。
 OSD画面が表示されているとき
 左方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択／調節をおこないます。

▶ボタン

OSD画面が表示されていないとき
 音量調節ができる状態になります。
 OSD画面が表示されているとき
 右方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択／調節をおこないます。

INPUT/EXITボタン

OSD画面が表示されていないとき
 [D-SUB→DVI-D]
 [HDMI1→HDMI2→D端子]
 の順で入力切り替えをおこないます。
 OSD画面が表示されているとき
 選択しているOSD項目メニューから抜け出る時に押します。
 主項目メニューが選択されている状態の場合は、OSD画面が消えます。

お知らせ

● 各ボタンによる詳しいOSDの操作については「OSDの基本操作」→P30 をご覧ください。

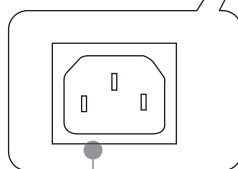
本体背面/側面

把手
持ち運びに便利です。

VESA規格準拠穴
(以下、VESA穴と記載)
市販のアームスタンド
を取り付けられます。
(M4-100mmピッチ)

→P51

盗難防止用ロック穴
盗難防止用のキー
(Kensington 社製)
を取り付けられます。



電源入力コネクター
電源コードを接続します。

音声入力端子(ミニジャック)
付属のオーディオケーブルでPCと
接続します。

デジタル信号入力端子(DVI-D)
付属のDVI-DケーブルでPCと
接続します。

アナログ信号入力端子(D-SUB)
付属のミニD-SUB15ピンケーブルで
PCと接続します。

音声入力端子 (RCA)
市販のオーディオケーブル(RCA) で
AV機器と接続します。

映像入力端子 (D5端子)
市販のD端子ケーブルでAV機器と
接続します。

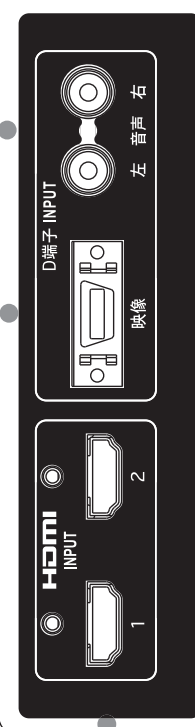
HDMI入力端子
市販のHDMIケーブルでAV機器
またはPCと接続します。

ケーブルホルダー
接続後のケーブルを
すっきりまとめます。

<PC接続>



<AV機器接続>



もくじ

ご使用の
前に

安全のた
めに

使用上の
お願い

各部の
はたらき

使用の
準備

機能

困った
とき

付録

解用
説語

いさく

リモコン

電源ボタン

電源をオン／オフします。

お願い

電源を短時間のうちに頻繁にオン／オフしないでください。故障の原因となることがあります。

DV MODE 切替ボタン

→P32,P38,P39

画像表示モードを選択します。

静止画：「スタンダード」「IVテキスト」「フォト」「sRGB」

動画：「TV」「シネマ」

映像入力切替ボタン

D-SUB DVI-D HDMI1 HDMI2 D端子

D-SUB
DVI-D
HDMI1
HDMI2
D端子

→P36

それぞれの映像入力をダイレクトに切り替えます。

ブライトネス調節ボタン

－ ＋

→P31

画面の明るさを調節します。
－：暗くなります。
＋：明るくなります。

超解像設定ボタン

－ ＋

→P32

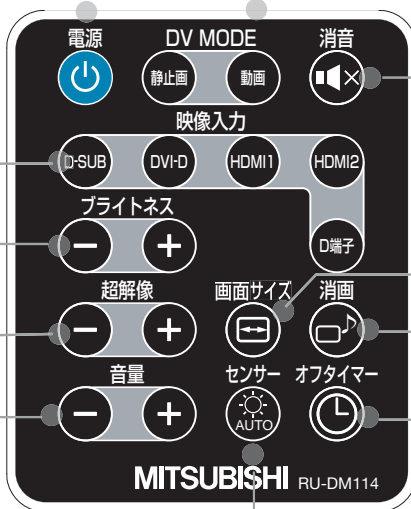
超解像レベルを調節します。
－：弱くなります。
＋：強くなります。

音量調節ボタン

－ ＋

→P34

音量を調節します。
－：小さくなります。
＋：大きくなります。



消音ボタン

→P34

音声を消します。
もう一度押すか、音量調節ボタンを押すと音声が出るようになります。
電源オフでも消音設定は解除されます。

画面サイズ切替ボタン

→P32,P38

画面サイズを切り替えます。

- ・フル
- ・アスペクト
- ・自動

消画ボタン

→P35

消画モードに入ります。
もう一度消画ボタンを押すか映像入力切替ボタンを押すと解除されます。
電源オフでも解除されます。

オフタイマーボタン

→P35

オフタイマーの時間を設定します。
「30分」「60分」「90分」「120分」の中から選択した時間を経過後に、自動的に電源オフすることができます。

センサーボタン

→P36

明るさセンサーの感度を設定します。
・オフ
・弱
・中
・強

お願い リモコンの取り扱い

落としたり衝撃を与えない。

水をかけたり、濡れたものの上に置かない。

ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。



リモコンの使用範囲



リモコンの受光部に正しく向けてください。
使用範囲は角度により異なります。

リモコンの取り扱い

基本的な使い方

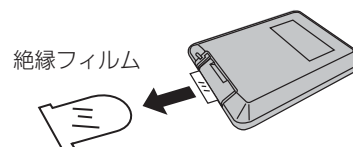
リモコンはディスプレイ本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。

⚠ 注意

- リモコン使用上の注意
 - ・ RDT232WXシリーズ専用のリモコンです。
 - ・ リモコンの動作範囲は真正面からの直線距離で約3mですが、操作する角度によっては反応が遅かったり、動作しないこともあります。この場合は、画面に近づくか、より真正面に近い角度で操作してください。
 - ・ リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
また、水にぬらしたり、温度の高いところに置かないでください。故障の原因となります。
 - ・ リモコンを直射日光の当たる場所に放置しないでください。熱により変形することがあります。
 - ・ リモコンを操作しても本機が動作しなくなったら電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。
 - ・ 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

ご使用前に

透明の絶縁フィルムを引き抜いて、使用可能な状態にしてください。

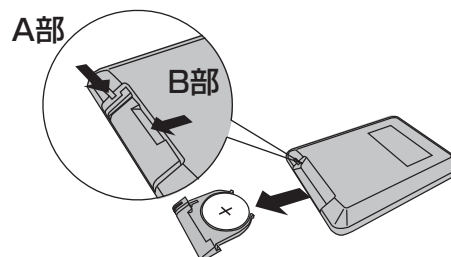


電池の交換方法

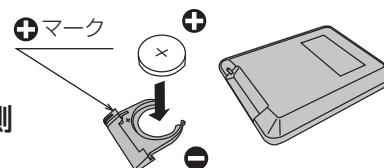
お知らせ

- 付属の電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、電池をリモコンから取り出して保管してください。

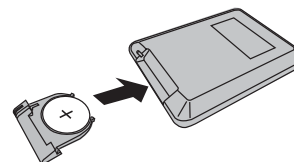
- 1 A部を内側へ押し側面のロックを解除しながら、B部を矢印の方向に引き電池ケースを取り出します。
電池ケースを外に取り出したら、古い電池を取り外してください。



- 2 使用する電池はコイン型リチウム電池：品番CR2025です。
それ以外の電池は使用しないでください。
交換する時は、必ず電池ケースの+マーク側と電池の+マーク側を合わせて入れ換えてください。



- 3 新しい電池と交換した電池ケースを元に戻してください。



⚠ 警告

使用している電池は、リチウム・有機触媒など可燃性物質を内蔵しており、使い方を誤ると電池の漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。
「安全のために必ずお守りください。」→P7 をご覧になり、取り扱いには十分に注意してください。

⚠ 注意

- 電池を入れるときは、プラス⊕とマイナス⊖の向きを正しく入れてください。
 - 交換用電池は品番を確認して、同じものを使用してください。
 - 付属の電池は充電用ではありませんので充電しないでください。
- これらの使い方を誤ると漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。

もくじ

ご使用の前に

安全のため

お使用上の

各部のはたらき

使用の準備

機能

と困った

付録

解用説語

いさく

使用の準備

使用するための流れ



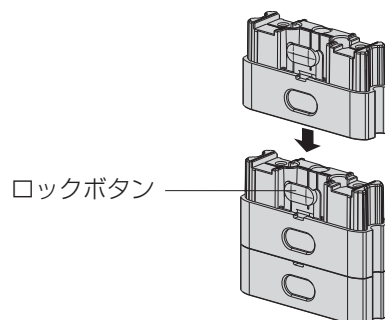
[準備1] ディスプレイを組立てる

スタンドを組立てる

ブロックネックをお好みの画面高さになる数量で重ねる

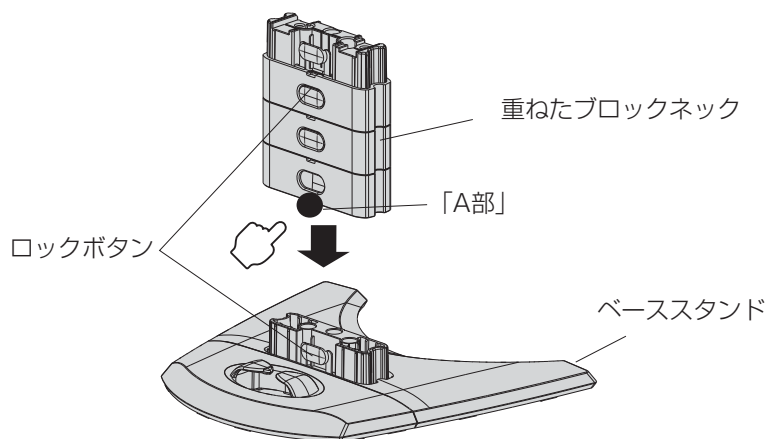
付属のブロックネックは、画面高さがお好みの位置になる数量をお使いください。
説明図は付属のブロックネック3個を全て使用した状態です。

付属の2段ブロックネックと1段ブロックネックを積み重ねます。
ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。



ブロックネックとベーススタンドを組み合わせる

付属のベーススタンドに重ねたブロックネックを取り付けます。
ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。



お知らせ

- ブロックネックをベーススタンドへ差し込む時に、ベーススタンドのロックボタンを軽く押すと、挿入が容易になります。ベーススタンドの溝に入りにくい場合は、A部を押してください。

完成したスタンドを本体に取り付ける

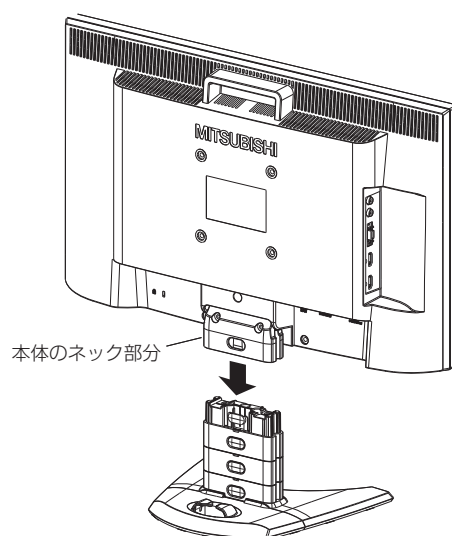
図のように水平な机の上に、ブロックネックとベーススタンドを組み合わせたベース部を置いてください。
本体に装着されているネック部分と最上段のブロックネックの凹凸部分を重ね合わせて、ロックボタン部で「カチッ」と音がするまで、しっかり差し込んでください。

⚠ 注意

- ベーススタンドとブロックネックが確実に接合されていないと、本体が斜めになったり外れたりする恐れがあります。取り付け際に、ベーススタンドとブロックネックのロックボタンが正常にかみ合っていることを再確認してください。
- スタンドを組立てる際に、指をはさまないように注意してください。

語句説明

- スタンドとは、付属のベーススタンドとブロックネックおよび本体のネック部分を全て組立てた状態を示します。



もくじ

ご使用の
前に

安全のた
めに

使用上の
お願い

各部分の
はたらき

使用の
準備

機能

困った
とき

付録

解用
説明

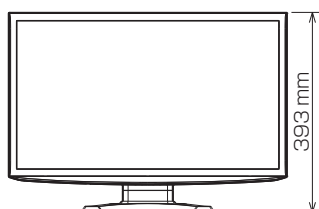
いさ
く

ブロックネックスタンドの特長

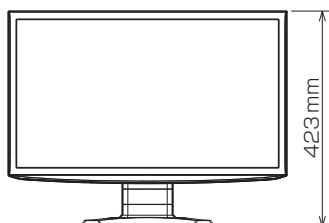
本機は、付属の分割式ベーススタンドとブロックネックの組み合わせ次第で、お好みに応じた様々な設置スタイルに対応します。

ブロックネック装着数を加減することで画面高さを段階的に調節できる

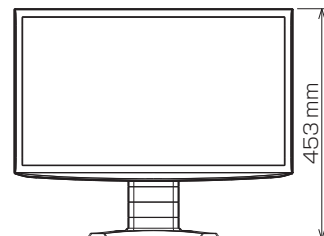
付属のブロックネックの装着数を加減することによって、お好みの画面の高さへ段階的に調節できます。



ブロックネック1個の場合



ブロックネック2個の場合



ブロックネック3個の場合 (最大)

後部ベースを外すと壁寄せ設置できる

付属のベーススタンドは前後を分割できます。
標準仕様のまま使用する以外に、後部ベースを取り外すことで壁に寄せて設置することができます。
机の奥行きが狭い場合は、キーボードで狭くなった机を広く使用することができます。

⚠ 注意

- 後部ベースを外した場合、本機を壁から離さないでください。転倒する恐れがあります。けがや破損の原因になります。
- 壁から離して使用する時は、後部ベースを必ず取り付けてください。また、地震の時などでも安全にお使いいただくために、本体背面のVESA穴を利用して丈夫な紐で壁とつなぐなどの対策を施して転倒や落下しないようにしてください。



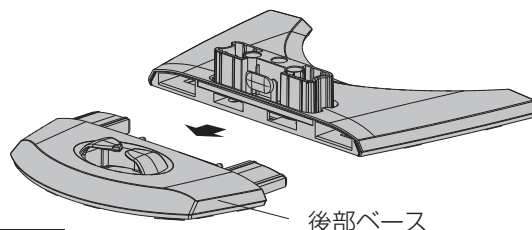
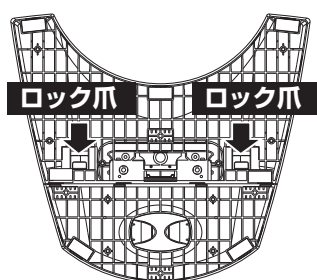
壁に寄せて設置した時

[準備2] スタンドの後部ベースを取り外し壁に寄せる

後部ベースを分離する

[必要に応じて]

- 図に示すベーススタンド裏面のロック爪を押してロックを解除し、後部ベースを引っ張って取り外します



お願い

- 取り外した後部ベースは、大切に保管ください。

壁に寄せて設置する

- 転倒しないように壁に寄せて設置する

[準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する

本機にコンピューターを信号ケーブルで接続してください。

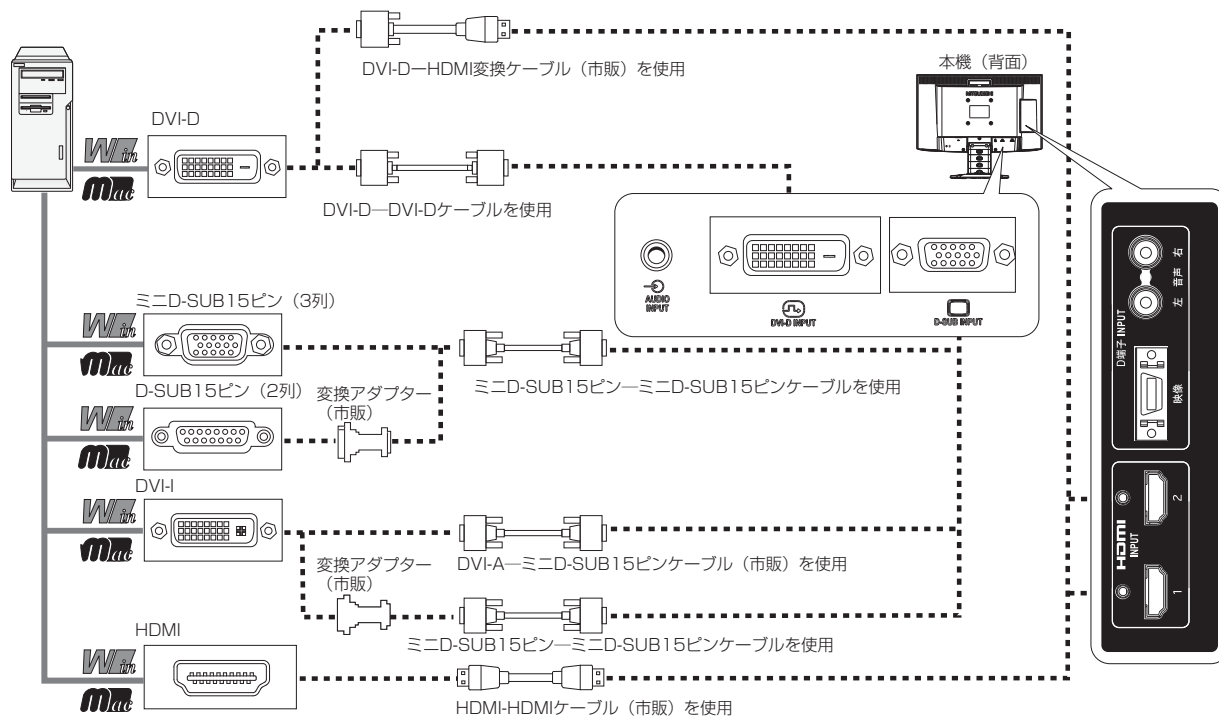
お願い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

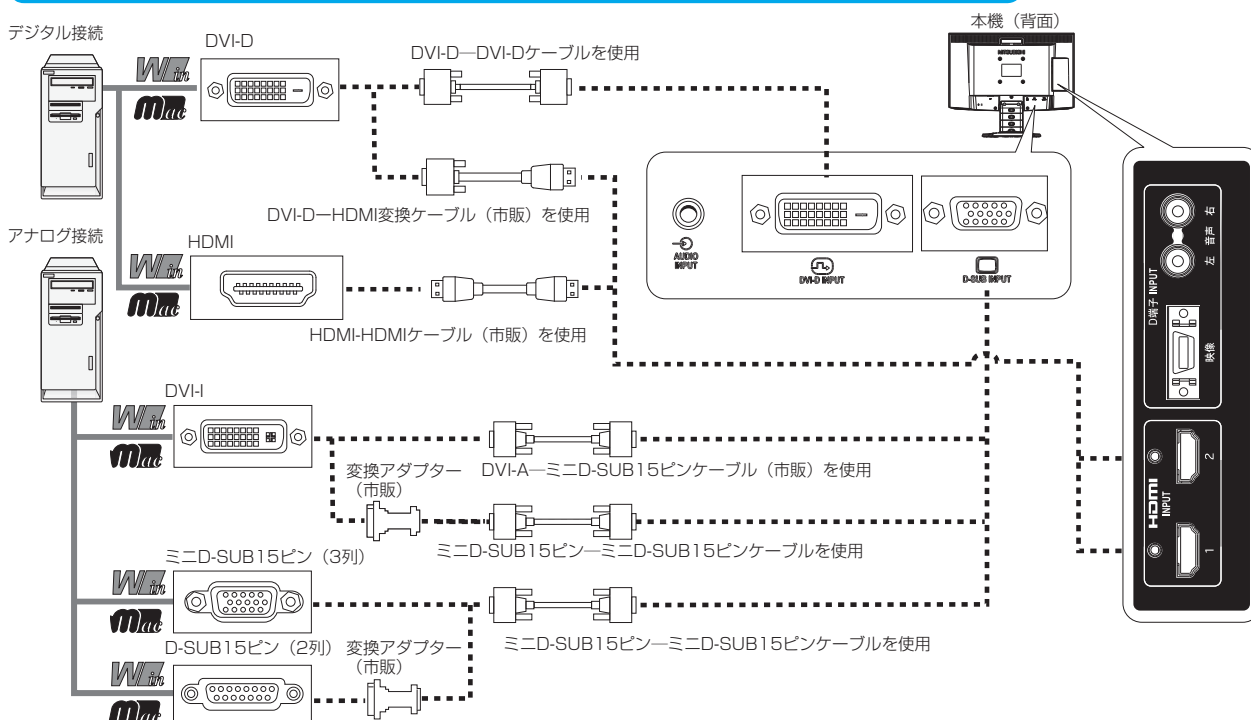
お知らせ

- 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。
信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

1台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）



2台のコンピューターを接続（デジタル1系統/アナログ1系統同時接続）



もくじ

ご使用の前に

安全のために

お使用上の

各部分の

使用の準備

機能

と困った

付録

解説語

いさく

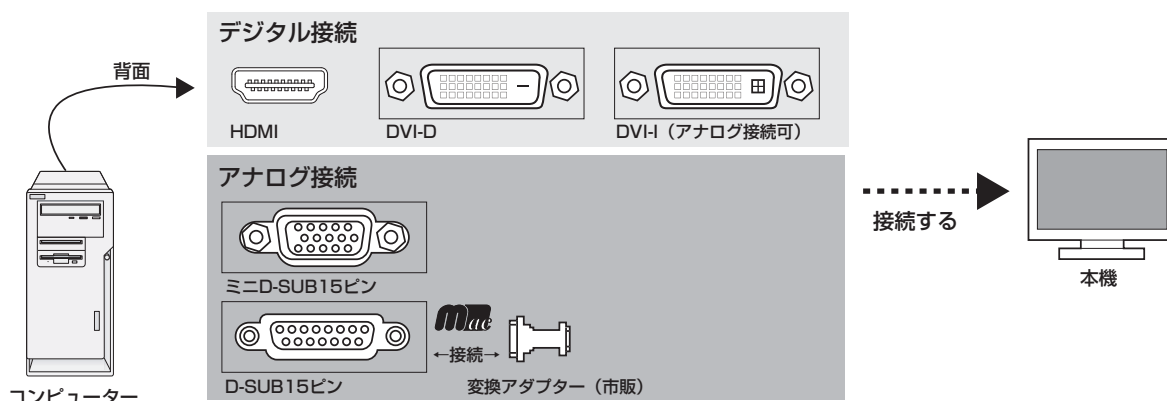
[準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する（つづき）

3台～4台のコンピューターを接続（デジタル2～3系統/アナログ1系統同時接続）

前ページの接続図において、2台～3台のコンピューターを同時にデジタル接続することも可能です。その場合、それぞれのコンピューターからのデジタル接続の信号ケーブルを本機のHDMI端子とDVI-D端子にそれぞれ接続してください。さらにもう1台のコンピューターをアナログ接続することにより3台～4台のコンピューターを同時に接続することが可能です。

接続方法について

本機の信号入力コネクタは、アナログ信号（ミニD-SUB15ピン）とデジタル信号（DVI-D, HDMI）に対応しています。また、複数のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り替えて使うことができます。ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクタに接続してください。それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



接続コネクタと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 コンピューター側	ミニD-SUB15ピン（アナログ）	DVI-D（デジタル）	HDMI（デジタル）
DVI-I （アナログ接続 ／デジタル接続）	DVI-A—ミニD-SUB15ピンケーブル（市販）で接続（アナログ接続）またはミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続	DVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）で接続
DVI-D（デジタル接続）	接続できません	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続	DVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）で接続
HDMI（デジタル接続）	接続できません	DVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）で接続	HDMI—HDMIケーブル（市販）で接続
ミニD-SUB15ピン （アナログ接続）（3列）	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続	接続できません	接続できません
D-SUB15ピン （アナログ接続）（2列）	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	接続できません	接続できません

DVI-I：デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能

DVI-D：デジタル入力のみに対応しているDVI端子

DVI-A：アナログ入力のみに対応しているDVI端子

※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクタが異なります。

※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。

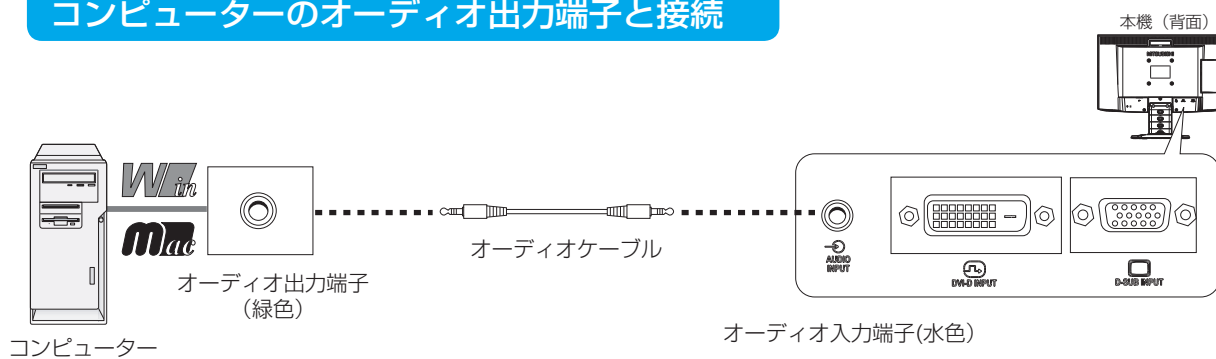
※ HDMIケーブルは、下記のHDMIロゴ表示があるケーブルをご使用ください。

1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合がありますので、High Speed HDMI®ケーブルをご使用ください。



[準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する (つづき)

コンピューターのオーディオ出力端子と接続



お知らせ

- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせて参照ください。
- オーディオケーブルは付属品あるいはステレオミニプラグ付きの抵抗無しのものでご使用ください。
抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。

もくじ

ご使用の
前に

安全に
使用す
るた

使用上
の

各部の
き

使用の
準備

機能

と困
った

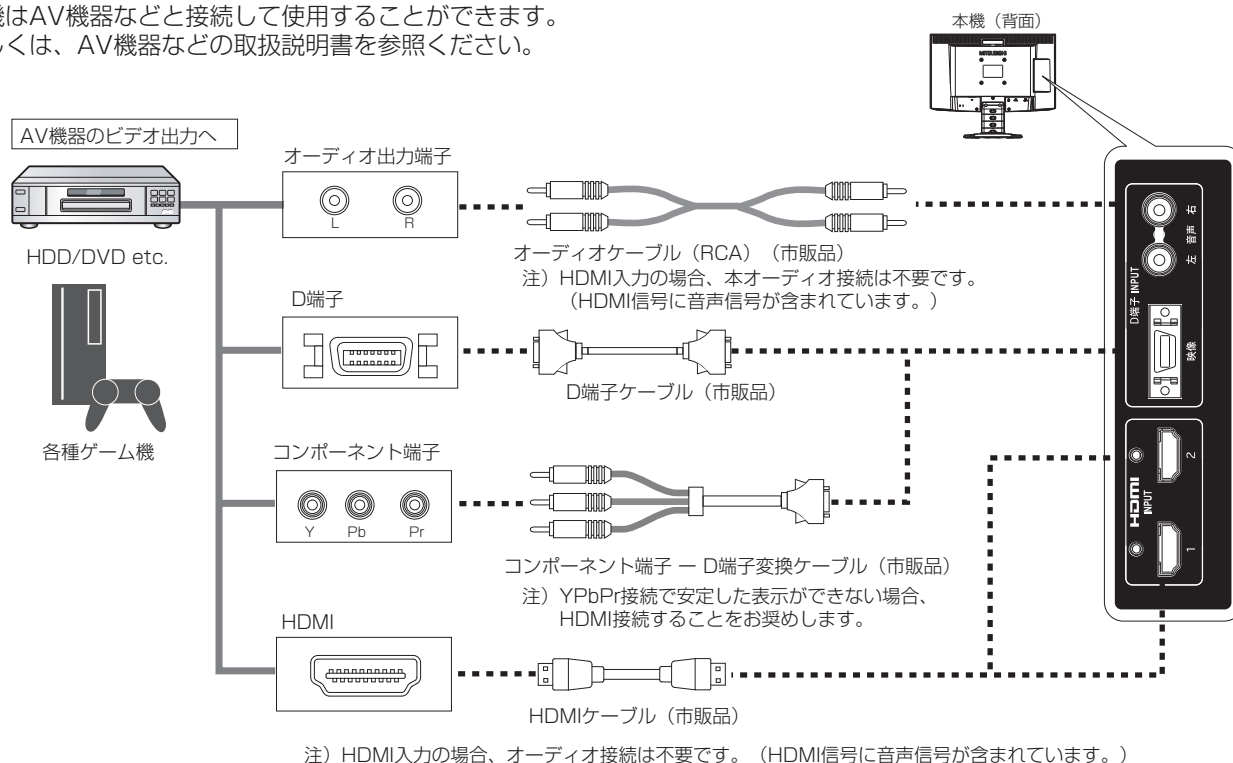
付録

解用
説語

いさ
く

HDD/DVDや各種ゲーム機器などのAV機器と市販のケーブルで接続してください。

本機はAV機器などと接続して使用することができます。
詳しくは、AV機器などの取扱説明書を参照ください。



お知らせ

- HDMI-HDMIケーブル接続で2台のAV機器との接続ができます。
すべてのHDMI機器への接続を保証するものではありません。
- 一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。
数秒 (5 ~ 30 秒) お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。
 - ・ 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。
 - ・ OSDの「入力自動切換」機能をオフすると表示されやすくなる場合があります。
 - ・ 電源コードを含む全てのケーブルを抜き、接続し直してください。
 - ・ 映像機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。
- D端子入力でAV機器と接続される場合、音声信号はAV機器のオーディオ出力端子と本機の音声入力端子を接続してください。
- HDMIケーブルは、下記のHDMIロゴ表示があるケーブルをご使用ください。
1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合がありますので、High Speed HDMI[®]ケーブルをご使用ください。



[準備5] ヘッドホンを接続する [必要に応じて]

本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。

⚠ 注意

- ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。
音量によっては耳を傷める原因となります。
- ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないように
ご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、
聴力に悪い影響を与えることがあります。

お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。
お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、「ステレオ標準
プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ（市販）をご使用ください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音声は消えます。
- 画面表示開始時（電源オン時、パワーマネージメントからの復帰時など）
にノイズが発生することがあります。



ヘッドホン端子（底面）

もくじ

ご使用の
前に

安全の
ために

使用上の
お願い

各部の
はたらき

使用の
準備

機能

と困った

付録

用語
解説

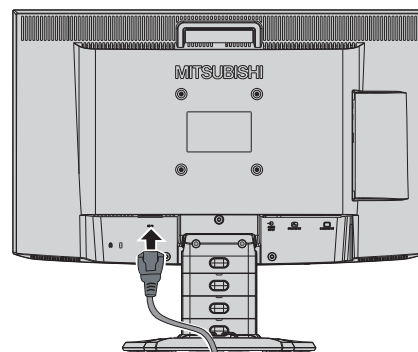
さく
いん

[準備6] 電源コードを本機に接続する

電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む
奥までしっかりと差し込んでください。

お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0A以上が必要です。）
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。

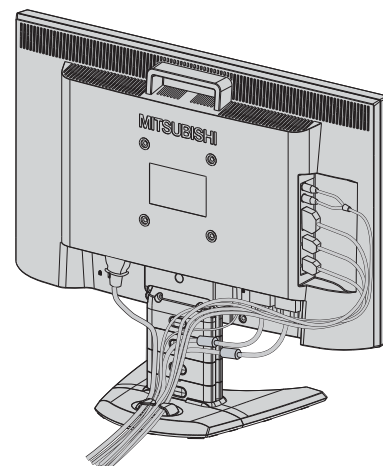


[準備7] ケーブルをまとめる [必要に応じて]

本機背面に接続した電源コード、信号ケーブル、オーディオケーブルを、スタンドのケーブルホルダーを使ってまとめる

お願い

- 画面を下方に傾けた状態でケーブル類はケーブルホルダーでまとめてください。設置後、画面を上向きに傾けたときに必要なケーブルの長さが確保されます。
- 本機の角度を調節し、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。
- ケーブルホルダー部へは、細いケーブルから順番に入れて、電源コードを最後に挿入するとホルダーから外れにくくなります。



もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

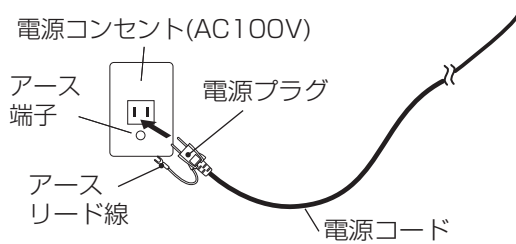
機能

困ったとき

付録

用語解説

さく

[準備8]**電源プラグのアースリード線を接続する****[準備9]****電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する****お願い**

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

⚠ 警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外（最大AC240V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- 電源プラグのアースリード線は電源コンセントのアース端子などへ必ず接続してください。
なお、アースリード線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。
また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

もくじ

ご使用の前に

安全のため

使用上の注意

各部分の名称

使用の準備

機能

と困ったとき

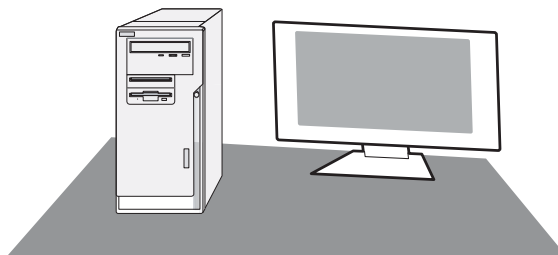
付録

用語解説

さくさん

[準備10] 設置する

ディスプレイ画面が見やすく、傾いていない平らで安定している場所に設置します。



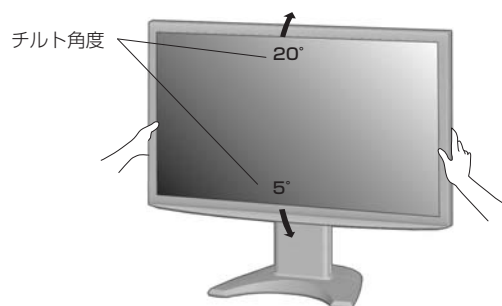
[準備11] 画面の角度を調節する [必要に応じて]

角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。
右図のように両手で動かして、見やすい角度に調節します。

⚠ 注意

角度調節時に、手を挟まないように気付けてください。
けがの原因となることがあります。



液晶画面を押さないようにしてください。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

用語解説

さく

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面の調節をおこなう

■ デジタル接続の場合

自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

■ アナログ接続の場合

「オートセットアップをする(D-SUB入力するとき)」→P26 の手順にしたがって画面を調節してください。

オートセットアップをおこなってもうまく表示されない場合は「調整メニュー」(OSD機能) →P33 をご覧ください。

テストパターン

付属のユーティリティディスクには、テストパターンが入っています。
このテストパターンはアナログ接続した場合の画面調節をするときに使用します。
ご使用方法については、ユーティリティディスクのREADMEをご覧ください。

「調整メニュー」の「水平位置」または「垂直位置」の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。 →P33

「調整メニュー」の「水平サイズ」または「位相」の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。 →P33

「画質メニュー」の「コントラスト」で調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。 →P31



テストパターン表示画面

お知らせ

テストパターンは、64bit版OSに対応しておりません。

<対応OS>

Windows®95/98/Me/2000、Windows®XP(32bit版)、Windows Vista®(32bit版)、Windows®7(32bit版)

もくじ

ご使用の前に

安全のため

お使いの上

は各部分

使用の準備

機能

と困った

付録

解用説語

いさく

オートセットアップをする (D-SUB入力するとき)

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初にオートセットアップをおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。→P33

お知らせ

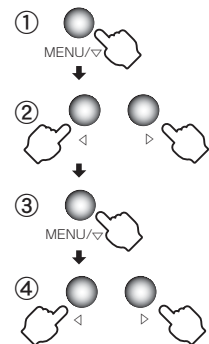
- オートセットアップは適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSDの基本操作」→P30 をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面全体にテストパターン →P25 またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

3 オートセットアップをおこなう

- ① 「MENU」 ボタンを押してOSD画面を呼び出す。
- ② 「◀」 「▶」 ボタンで「調整」にカーソルを移動する。
- ③ 「▼」 ボタンで「オートセットアップ」にカーソルを移動する。
- ④ 「◀」 「▶」 ボタンで「する」を選択する。
- ⑤ 「コントラスト」「水平位置」「垂直位置」「水平サイズ」「位相」の自動調節が実行されます。



お知らせ

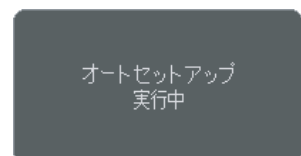
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。
- オートセットアップ中は、「オートセットアップ実行中」のOSD画面が表示されます。



OSD画面-②



OSD画面-③



OSD画面-⑤

お願い

- DOSプロンプトのように文字のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。その場合は、手動調節 →P33 で好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合もオートセットアップがうまく機能しない場合があります。この場合も手動調節 →P33 で好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。

Windows® 95/98/Me/2000/XP/7, Windows Vista® 用の「画面の設定」でご利用いただくためのファイル情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

もくじ

ご使用の
前に

安全のた
めに：
・

使用上の
お願い

各部の
はたらき

使用の
準備

機能

と困った
とき

付録

用語
解説

さく
いん

ECO設定の変更

- ①「MENU」ボタンを押して、OSD画面を呼び出す。
- ②「◀」「▶」ボタンを押して、主項目メニューの「ECO PROF.」を選択する。
- ③「▽」ボタンを押して、副項目メニューの「ECO設定」を選択する。
- ④「◀」「▶」ボタンを押して、「オフ」「小」「中」「大」→P35の中から、お好みの設定をお選びください。



お知らせ

OSDの操作方法は、「OSDの基本操作」→P30を参照ください。

ECOメーターの表示

- ①「▽」ボタンを押して、副項目メニューの「ECOメーター表示」を選択する。
- ②「◀」「▶」ボタンを押して、「する」をお選びください。
- ③「シースルー調節」が有効になりますので、「▽」ボタンを押して選択し、「◀」「▶」ボタンを押して、「する」をお選びください。
- ④ECOメーターシースルー調節OSD画面が表示されますので、「◀」「▶」ボタンでお好みの透過率に設定してください。

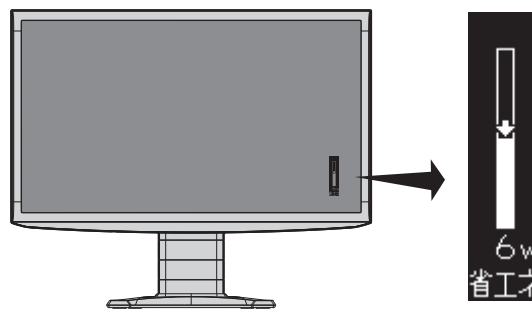
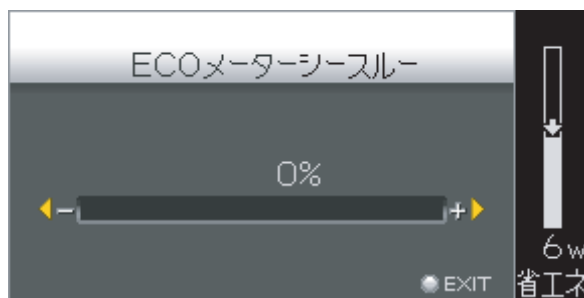
この「シースルー調節」メニューは、設定した後に自動的に「しない」に戻ります。

ECOメーターは現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。

表示値：消費電力へ影響する「ブライトネス」「CRO」「ECO設定」により値が変わります。

- ⑤「INPUT/EXIT」ボタンを3回押し、OSD画面を消した後に、画面の右下にECOメーターが設定した透過率で表示されます。

「ECOメーター」を表示したくない場合は、「しない」を選択するか透過率を「0%」にすると消えます。



省エネ電力量値はゼロリセットすることができます。

「省エネ電力量リセット」を選択して、「する」に設定すると積算された「省エネ電力量」「省エネ率」「CO₂削減量」がゼロに戻ります。

お知らせ

上図のECOメーターは表示の（例）です。省エネ状態によってメーターのバーの高さと省エネ数値(W)は変化します。

機能

本機には画面の調節が簡単にできるOSD（On Screen Display）機能がついています。
OSD機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節や、その他の設定をおこないます。

OSD画面の構成

OSD画面は、以下に示すような構成になっています。

副項目メニュー

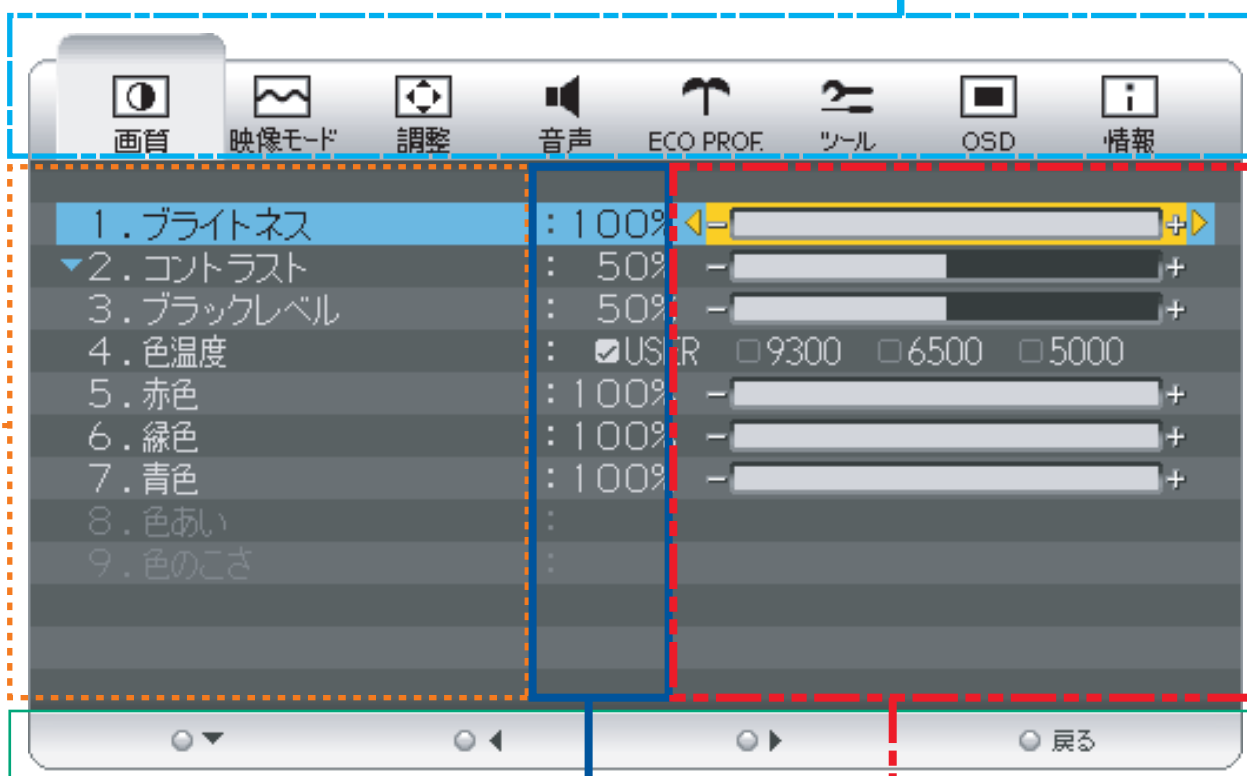
選択項目が青い背景になります。
▽ ボタンで調節したい項目へ移動します。
選択された項目の調節バーは黄色い背景へ変わります。

お知らせ

●入力信号、DV MODEの設定 →P38 により、調節／設定できないメニューがあります。

主項目メニュー

選択項目が青い背景になります。
◀ ▶ボタンで調節したい項目へ移動します。



操作ボタンの配列（キーガイド）

そのOSD画面で必要な操作ボタンを表示しています。

調節バー

バーが伸び縮みします。調節状態の割合を感覚的にお知らせします。
両端の「◀」「▶」マークは調節可能な状態であることを示します。

調節割合

調節状態の割合を数値でお知らせします。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上の

各部の

使用の

機能

困った

付録

解用

説明

いさく

OSDの基本操作

OSDの操作は、以下に示すような構成になっています。

手順①
本機の電源を入れる。

手順②
「MENU/▽」ボタンを押してOSDメニュー画面を表示する。

手順③
「◀」「▶」ボタンで調節する項目の主項目メニューを選択する。

選択したメニューフラグが青色になる。

手順④
「▽」ボタンで調節する項目の副項目メニューを選択する。

選択したメニューバーが青色になる。

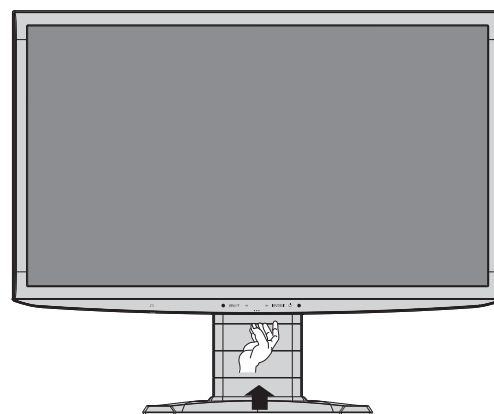
手順⑤
「◀」「▶」ボタンで調節バーによる調節をする、もしくは選択メニューではお好みのモードに「チェックマーク」を入れる。

選択した項目の背景が黄色になったり、調節量の表示バーが増減する。

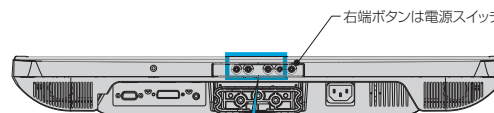
手順⑥
「INPUT/EXIT」ボタンを押して、主項目メニュー選択OSD画面に戻す。

手順⑦
もう1度、「INPUT/EXIT」ボタンを押して、OSD画面を消す。

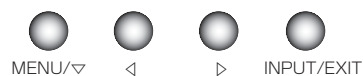
OSD画面の状態



下側よりボタンを操作する



OSD操作ボタン


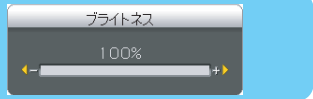


お知らせ

- OSD画面が表示された後、操作が行われない場合は、OSD表示時間で設定された時間が経過すると自動的に消えます。

OSD機能一覧



主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
 画質	ブライツネス	画面の明るさを調節します。 【リモコン操作の場合】 →P12 右記の調節用OSD画面が表示されます。 
	コントラスト	コントラストを調節します。
	ブラックレベル	黒レベルを調節します。 画面の暗い部分に注目して調節をおこなってください。
	色温度	画面の色温度を選択します。 「USER」「9300」「6500」「5000」からお選びください。
	赤色	色温度で「USER」を選択したとき、赤色を調節します。
	緑色	色温度で「USER」を選択したとき、緑色を調節します。
	青色	色温度で「USER」を選択したとき、青色を調節します。
	色あい	色あいを調節します。 お知らせ ● DV MODEで「動画」が選択されている場合のみ調節できます。
	色のこさ	色のこさを調節します。 お知らせ ● DV MODEで「動画」が選択されている場合のみ調節できます。

もくじ

ご使用の

安全のた

お使用上の

は各部分の

使用準備

機能

と困った

付録

解説語

いさく


OSD機能一覧



主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
映像モード	DV MODE	<p>画像表示モードを選択します。 →P38</p> <p>静止画: 「スタンダード」「IVテキスト」「フォト」「sRGB」 動画: 「TV」「シネマ」</p> <p>【リモコン操作の場合】 →P12</p> <p>選択されている画像表示モードがOSDで表示されます。お好みの画像表示モードを選択してください。</p> <p>静止画: DV MODE: 静止画/スタンダード DV MODE: 静止画/IVテキスト DV MODE: 静止画/フォト DV MODE: 静止画/sRGB 動画: DV MODE: 動画/TV DV MODE: 動画/シネマ</p> <p>お知らせ ● リモコン操作でDV MODEを選択する場合、使用しない画像表示モードをスキップすることができます。 →P39</p>
	画面サイズ	<p>自動的に表示画面を拡大します。 →P38</p> <p>「フル」「アスペクト」「自動」からお選びください。</p> <p>【リモコン操作の場合】 →P12</p> <p>選択されているモードがOSDで表示されます。お好みのモードを選択してください。</p> <p>フル アスペクト 自動</p> <p>お知らせ ● 16:9タイミング時 フル選択のみ可です。 ● 16:9タイミング以外の時 フル/アスペクトが選択できます。 ● HDMI、D端子接続でAV SDタイミングの時 フル/アスペクト/自動の全てが選択できます。</p>
	オーバースキャン	<p>オーバースキャン機能の「する」「しない」を選択します。 AV信号を表示する場合、映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。 「する」を設定することで画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。</p> <p>「しない」: 入力された映像をそのまま表示します。 「する」: 入力された映像の外周部をカットして拡大表示します。</p> <p>お知らせ ● HDMI、D端子入力でAVタイミングを表示している時のみ選択できます。</p>
	シャープネス	文字や映像のキレを調節します。
	CRO	<p>CRO (コントラストレシオ最適化) 機能の「しない」「する」を選択します。 映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。 画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。</p> <p>お知らせ ● DV MODEで「スタンダード」または「動画」が選択されている場合のみ選択できます。</p>
	ダイナミックコントラスト	<p>ダイナミックコントラスト機能の「しない」「する」を選択します。 コントラスト感を改善して鮮明な映像にします。</p> <p>お知らせ ● DV MODEで「スタンダード」または「動画」が選択されている場合のみ選択できます。</p>
	黒白伸張	<p>入力映像に対して、黒白伸張を行います。 「する」「しない」から、お好みのモードをお選びください。 映像が黒浮きしているような場合は、「する」を選択ください。 映像の黒領域・白領域の階調がつぶれているような場合は、「しない」を選択ください。</p> <p>お知らせ ● デジタル入力 (DVI-D、HDMI) の時、DV MODEで「スタンダード」または「動画」が選択されている場合のみ選択できます。</p>
	超解像設定	<p>超解像レベルは0% (オフ) ~ 100%の10%ステップの10レベルからお好みの状態になるように調節できます。</p> <p>【リモコン操作の場合】 →P12</p> <p>「+」ボタンを押すと超解像レベルが強くなります。 「-」ボタンを押すと超解像レベルが弱くなります</p> <p>お知らせ ● 超解像技術の効果は入力画像の種類や解像度によって異なります。コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。</p>
	オーバードライブ	<p>オーバードライブ機能のレベルは「オフ」「1」「2」から、お好みの状態になるように選択します。 動きの速い映像でも、ぼやけを抑えます。 レベル: 弱 「1」⇄「2」 強</p> <p>お知らせ ● 映像に色飛び等が発生する場合は、「1」または「オフ」に設定してください。 ● オーバードライブがオン (「1」または「2」) の場合、コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。オーバードライブを「オフ」にしてください。</p>

OSD機能一覧



主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
 調整	オートセットアップ	「する」選択で、オートセットアップ機能を実行します。 →P26
	水平位置	画面位置を左右方向に調節します。
	垂直位置	画面位置を上下方向に調節します。
	水平サイズ	表示画面幅を調節します。 画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズがあていないときに調節します。
	位相	画面に横方向のノイズがあったり、文字のにじみ、輪郭のぼやけがある場合に調節します。
	解像度切換	入力解像度を、手動にて直接指定することができます。 「1360x768」「1280x768」「1024x768」の入力信号に対しては、解像度を正しく自動判別できない場合があります。 その場合は、本機能にて直接解像度を指定することにより、指定の解像度で表示することができます。

お知らせ ● 調整項目メニューは、全てD-SUBコネクターへのPC信号入力時のみ操作できます。
YPbPr信号入力の場合はスキップされます。

もくじ

ご使用の

安全のため

お使用上の

は各部分の

使用準備

機能

困った





付録

用語説明

いさく

OSD機能一覧



主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
 音声	音量	音量を調節します。 【リモコン操作の場合】 →P12 「+」ボタンを押すと音量が大きくなります。 「-」ボタンを押すと音量が小さくなります。 
	消音	消音機能の「しない」「する」を選択します。 【リモコン操作の場合】 →P12 音声が消えます。もう一度押すか「音量調節」を操作すると音声が出ます。 お知らせ ● 電源オフ、消音モードで消音機能は解除されます。 ● 設定後、下記の状態表示アイコンが画面に2秒間表示されます。 「する」の場合:  「しない」の場合: 
	音声選択	「自動」・「PC」・「D端子」から選択します。 「自動」 : 入力選択に応じて、自動的にオーディオ入力を切り替えます。 ● D-SUB、DVI-D入力時: オーディオ入力端子が選択されます。 ● HDMI入力時: HDMIオーディオが選択されます。 ● D端子入力時: D端子INPUTの音声入力端子 (RCA) が選択されます。 「PC」 : オーディオ入力端子が選択されます。 (HDMI入力画面表示時にオーディオ入力端子からの音声を、お聴きになりたい場合にご使用ください。) 「D端子」 : D端子INPUTの音声入力端子 (RCA) が選択されます。
	高音	高音域の音量を調節します。
	低音	低音域の音量を調節します。
	バランス	スピーカー音の左右出力バランスを調節します。
	サラウンド	サラウンド機能の「しない」「する」を選択します。 「する」にすると臨場感のある立体的な音響を感じることができます。

OSD機能一覧



ECO Professional機能とは省エネに配慮した以下の機能の総称です。

主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
ECO PROF.	オフタイマー	<p>「30分」「60分」「90分」「120分」の中から選択した時間を経過後に、自動的に電源オフすることができます。</p> <p>お知らせ ● 消画モード動作時も、設定した時間後に自動的に電源オフします。</p> <p>【リモコン操作の場合】 →P12</p> <p>下記の設定ができます。お好みの時間に設定してください。 オフタイマーが設定されている場合には、リモコンボタンを押すと残り時間が表示されます。</p> <p>オフタイマー : オフ オフタイマー : 30分 オフタイマー : 60分 オフタイマー : 90分 オフタイマー : 120分</p>
	消画モード	<p>消画モードの「しない」「する」を設定します。 お休み時など、画面を消してオーディオ機能のみをお使いになりたい場合にこの設定を行ってください。 (画面が消えるため、節電効果があります。)</p> <p>消画モード時、電源ランプが点滅します。 →P10</p> <p>「<」「>」ボタンで音量を調節できます。 「MENU/マ」が「INPUT/EXIT」ボタンのいずれかを押すと消画モードから抜けて入力信号があれば画面が表示されます。 電源オフでも消画モードは解除されます。</p> <p>【リモコン操作の場合】 →P12</p> <p>「消画」ボタンを押すと、右のOSDが約3秒間表示され消画モードに入り画面が消えます。 もう一度押すと表示画面が復帰します。</p> <p>消画モードを実行します。 解除するには 消画ボタンをもう一度押して下さい。</p> <p>お知らせ ● 消画モード時には消音できません。</p>
	電源自動オフ	<p>明るさセンサーで暗闇を検出した際や信号入力がない場合に、電源を自動的にオフするモードの設定をします。</p> <p>「オフ」 : 電源自動オフしません。 「1」 : 信号入力が無くなってから約30分後に電源オフします。 「2」 : 暗闇を検出後、約3分で電源オフします。 「3」 : 映像信号が無くなってから約30分後または暗闇を検出後、約3分で電源オフします。</p> <p>お知らせ ● 本機能動作後は、電源オフされているため再度ご使用される場合は、電源ボタンを押して本機の電源をオンにしてください。</p>
	ECO設定	<p>「オフ」「小」「中」「大」モードの中から、お好みの省エネモードを設定します。</p> <p>「オフ」 : 省エネモード設定を解除します。 「小」 : 画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約6W(*)削減します。 「中」 : 画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約15W(*)削減します。 「大」 : 画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約22W(*)削減します。</p> <p>お知らせ ● 「オン」時には、画面の明るさが低減します。 ● (*) マーク説明 : 画面全体の平均輝度が75%以上の状態においてECO設定「オフ」にした状態との比較値です。(当社測定結果による)</p>
	ECOメーター表示	<p>ECOメーターを表示する時は、「する」に設定します。 【シースルー調節】 ECOメーターの表示透過率を調節する場合は、「する」に設定します。 表示透過率の設定OSDが表示されますので、お好みの状態に調節してください。</p> <p>お知らせ ● ECOメーターは、現在の省エネ電力値を画面右下にリアルタイムに表示します。 ● 省エネ電力値 : ECO設定の動作時や画面の明るさ(ブライトネス)を暗くした時に得られる電力削減値です。</p>
	省エネ電力量リセット	<p>「する」を選択するとECO PROF. OSD画面の下部に表示している省エネ電力量と省エネ率表示値およびCO₂削減量がゼロにリセットされます。</p> <p>お知らせ ● 省エネ電力量と省エネ率表示値は5年以上経過すると表示色が赤色になり積算が停止する場合があります。積算の上限に達していますのでリセットしてください。 ● 工場出荷時に省エネ電力量と省エネ率表示値およびCO₂削減量がゼロでない場合があります。その場合は、リセットすることをお奨めします。</p>
	省エネ電力量(表示のみ)	<p>省エネ効果の確認用として、累積省エネ電力量と省エネ率およびCO₂削減量をOSD画面上に表示します。</p> <p>省エネ電力量 : ご使用を始めて(またはリセットした時点)から現在までに得られた省エネ電力を積算した値とコンピューターで設定したパワーマネジメント機能にて得られた電力削減を積算した値の合算を「***.***kWh」で表示します。 なお、本機の電源スイッチオフの時間は含まれません。</p> <p>省エネ率 : 省エネ電力量の削減効果を「*%」で表示します。 表示される値が大きいほど、省エネ電力量の削減効果が大きいことを意味します。</p> <p>CO₂削減量 : 省エネ電力量をCO₂削減量に換算した値を「* *kg」で表示します。</p>

* CO₂削減量は、1kWh=0.4kg (「各国における発電部門のCO₂排出原単位の推計報告書-Ver.3(2006.6Revised)-」(JEMA)より)を用いて算出。

もくじ


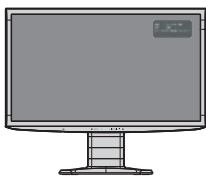





ご使用
前の安全の
たお使用
上のは各
部の
き使用
準
の
備

機能

と困
った付
録解用
説語いさ
く


OSD機能一覧



主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
 ツール	入力自動切換	<p>信号が入力されているコネクタを自動的に選択する機能です。 「しない」「する」を設定できます。 複数の入力信号がある場合に「INPUT/EXIT」ボタンを押さなくても、現在表示中の入力信号が切れると自動的に信号が入力している画面に切り替わります。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 選択されているコネクタは、「情報」のOSD画面で確認できます。 ● 「しない」選択で、INPUT/EXITボタンでの手動切り替え時は、切り替え毎に画面右上に数秒表示されるサブ情報OSD画面で選択されているコネクタを確認できます。 ● HDMI入力およびD端子入力は、本機能に対応していません。 <div style="text-align: center;">  <p>「映像入力コネクタ」「音声設定」「DV MODE設定」情報を表示します。</p> </div> <div style="background-color: #e0f0ff; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【リモコン操作の場合】 →P12 各映像入力をダイレクトに選択できます。 選択した入力の確認OSD画面が表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  D-SUB入力 </div> <div style="text-align: center;">  DVI-D入力 </div> <div style="text-align: center;">  HDMI 1入力 </div> <div style="text-align: center;">  HDMI 2入力 </div> <div style="text-align: center;">  D端子入力 </div> </div> </div>
	操作ロック	OSDの誤操作を防止するため、操作禁止を設定／解除します。 →P40
	DDC/CI	DDC/CI通信機能の「しない」「する」を選択します。 お知らせ ● 「しない」を選択すると、外部からの制御ができなくなります。 ● 工場出荷時設定は「する」です。
	明るさセンサー	<p>室内の明るさを感知する明るさセンサーの感度を切り替えます。 感知した明るさに応じて、室内が明るいときはより明るく、室内が暗いときはより暗くなるように画面の明るさを自動的に調節します。 弱→中→強の順で画面の明るさが暗くなります。</p> <p>「オフ」：明るさセンサーは、はたらきません。 「弱」：明るさセンサーの感度を弱くします。 「中」：明るさセンサーの感度を中程度にします。 「強」：明るさセンサーの感度を強くします。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 明るさセンサーの周辺に物を置いたりして、照明の影にならないようにしてください。 ● 明るさセンサー窓の埃や汚れは定期的に清掃してください。
	LEDブライトネス	電源ランプの明るさをお好みの明るさに調節できます。
	オールリセット	<p>「画質」「映像モード」「調整」「音声」「ECO PROF.」「ツール」「OSD」の各設定を出荷状態に戻します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ECO PROF.の省エネ電力量と省エネ率およびCO₂削減量はリセットされません。リセットしたい場合は、ECO PROF.の省エネ電力量リセットメニューで行ってください。 ● 「言語切替」および「消音」はリセットされません。

OSD機能一覧



主項目メニュー	副項目メニュー	機能説明
 OSD	OSD水平位置	OSD画面の左右の表示位置を調節します。
	OSD垂直位置	OSD画面の上下の表示位置を調節します。
	OSD表示時間	OSD表示時間(10~120秒)を調節します。
	言語切替	OSD画面の表示言語を「日本語」と「ENGLISH」から選択できます。
	サイドボーダー	画面のバックグラウンドの明暗を調節します。 お知らせ ● 画面サイズで「アスペクト」が選択されている場合のみ調節できます。



お知らせ

- 情報メニューでは、ご使用のモニター情報(モデル名とシリアルナンバー)および入力信号情報をお知らせします。
- 入力信号によっては、解像度や周波数を正しく表示できない場合があります。

もくじ

ご使用の

安全のた

お使用上の

は各部分の

使用の備

機能

と困った

付録

解用説語

いさく

OSD機能補足説明

OSD機能の補足説明をします。

画面サイズ

→P32

「フル」、「アスペクト」、または「自動」をお選びいただけます。

画面サイズ	フル	アスペクト	自動
PCタイミング	○	○ (*1)	×
AV SDタイミング (480p)	○ (スクイーズ用)	○ (4:3用)	○ (*2)
AV HDタイミング (1080p/720p/1080i)	○	×	×

[○:選択可 ×:選択不可]

フル : 映像を画面全体に拡大します。

アスペクト : 縦横比を変えずに画面を拡大します。(画面の左右に黒帯ができます。)

自動 : AV SDタイミングの4:3とスクイーズの映像信号を自動で判断し、アスペクト(4:3)かフル(スクイーズ)で表示します。

お知らせ

- 一部の解像度では画面全域に拡大されません。
- 入力信号によっては、縦または横方向に十分に拡大されない場合があります。
- (*1)印: 16:9タイミングは、アスペクト選択できません。
- 480iの信号が入力された場合はコンテンツによってちらつきが発生する場合がありますので、AV機器側の解像度設定を他の信号タイミング(480p、1080i、720p、1080p)に切り替えてご使用ください。
- (*2)印: HDMIおよびD端子接続時のみ選択可能です。
- 「自動」の設定で、画面が正しいアスペクト比で表示されない場合は、手動で「フル」もしくは「アスペクト」を選択してください。

DV MODE

→P32

適切な画質を簡単に設定できます。

最初に映像の種類に応じて「静止画」か「動画」を選択します。

その後、メニューの中から好みの表示モードをお選びください。

また、リモコンを使うことで、「静止画」と「動画」の画像表示モードをダイレクトに切り替えることができます。

お知らせ

適切な画像表示モードにするためブライトネス、色温度、シャープネス、CRO、ダイナミックコントラスト、超解像設定などは、選択したモード毎に個別の値を持っていますが、モードによって値が変わったり調節/設定ができない副項目メニューがあります。

【静止画】

スタンダード : 標準の設定です。

IVテキスト : 明るさ・コントラストを抑える目にやさしい、通常のワープロや表計算ソフトに適した設定です。

フォト : 自然画/静止画に適した設定です。

簡単カラーマネージメント(EASYCOLOR!2) →P3 をご使用になられた場合は、このモードになります。

sRGB : 国際色再現規格で表示する設定です。

【動画】

TV : TV番組を視聴するのに適した設定です。

シネマ : 暗いシーンの多い映画を見るのに適した設定です。



DV MODEスキップ機能

リモコン操作で画像表示モードのスキップ設定および解除することができます。

画像表示モードのスキップ設定方法

- ① 本体のOSD画面でDV MODEを選択します。
- ② スキップしたい画像表示モードを選択します。
- ③ スキップしたい画像表示モードが「スタンダード」「IV テキスト」「フォト」「sRGB」であれば、リモコンの「静止画」ボタンを押す、「TV」「シネマ」であればリモコンの「動画」ボタンを押すと、OSD画面上で選択した画像表示モードにスキップマーク(🔥)が表示されます。

- ①: 本体のOSD画面でDV MODEを選択する



- ②: スキップしたい画像表示モードを選択する



- ③: スキップしたい画像表示モードがある「静止画」ボタンまたは「動画」ボタンを押して、スキップを設定する



スキップマーク

OSD画面の選択した画像表示モードにスキップマークが表示される

画像表示モードのスキップ解除方法

スキップマークが表示されている画像表示モードを本体の操作ボタンで選択し、解除する画像表示モードが「スタンダード」「IV テキスト」「フォト」「sRGB」であればリモコンの「静止画」ボタン、「TV」「シネマ」であれば「動画」ボタンを押すとスキップ指定が解除されます。また、オールリセット →P36 でも解除できます。

お知らせ

- 「静止画」「動画」の全ての画像表示モードをスキップ設定することはできません。「静止画」「動画」の画像表示モードの全てを同時にスキップ設定することはできません。「動画」「静止画」で、それぞれ1項目のスキップ無しの画像表示モードを必要とします。
- 「オールリセット」でスキップ解除した場合、他の設定も工場出荷状態に戻りますので、ご注意ください。
- リモコンを紛失したり、破損するとスキップ設定することができません。万一紛失したり、破損した場合は、「修理相談窓口」 →P49 へご相談ください。

もくじ

で使用する前に

安全のために

お使用上の注意

各部の名称

使用上の注意

機能

と困ったとき

付録

解用説明

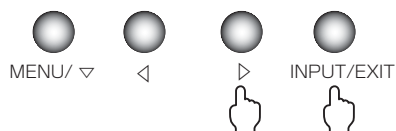
いさく

操作ロック

→P36

誤って調節してしまうことを防ぐためにOSDメニューの操作禁止を設定、解除できます。

操作ロックが選択された時に「▷」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、OSDメニュー操作はロックされ「操作ロック中」が表示されます。



操作ロック中

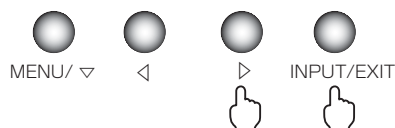


お知らせ

操作ロックはメインOSD操作のみがロックされます。
「電源スイッチ」、「INPUT/EXIT」、「◀」「▶」ボタンの基本機能は動作します。

操作ロックの解除

「MENU/▽」ボタンを押して、「操作ロック中」OSDを表示させ再び「▶」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、操作ロックは解除されます。



もくじ

ご使用の
前に安全のため
にお使用上の
注意各部の
はたらき使用
準備

機能

とき
困った

付録

解説
用語いさ
く

工場プリセットタイミング

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。但し、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、オートセットアップ **→P26** をおこなってください。

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	Machintosh
832 × 624	49.7kHz	74.5Hz	Machintosh
720 × 400	31.5kHz	70.1Hz	
640 × 480	31.5kHz	60.0Hz	
640 × 480	37.9kHz	72.8Hz	
640 × 480	37.5kHz	75.0Hz	
800 × 600	35.2kHz	56.3Hz	
800 × 600	37.9kHz	60.3Hz	
800 × 600	48.1kHz	72.2Hz	
800 × 600	46.9kHz	75.0Hz	
1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz	
1152 × 864	67.5kHz	75.0Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75.0Hz	Machintosh
1280 × 960	74.8kHz	75.0Hz	Machintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz	
1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz	
1680 × 1050	65.3kHz	60.0Hz	
1360 × 768	47.7kHz	60.0Hz	
1600 × 900	60.0kHz	60.0Hz	
1920 × 1080	33.7kHz	59.9Hz	1080i
1920 × 1080	67.5kHz	59.9Hz	1080p（推奨タイミング）
1280 × 720	45.0kHz	59.9Hz	720p
720 × 480	31.5kHz	59.9Hz	480p

お知らせ

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなわれています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。記憶させたい信号を入力し、オートセットアップ **→P26** するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.5～82.3kHz、垂直周波数56～76Hz対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピューターからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- D-SUB入力、DVI-D入力はインターレース信号には対応していません
- 本機は解像度1920×1080以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- デジタル接続の場合は、工場プリセットタイミング信号のみを表示できます。

もくじ

ご使用
前の安全の
ために使用上の
お願い各部の
はき使用
準の
備

機能

と困
った

付録

解用
説語いさ
く

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スモーキングファイン機能

1920×1080より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

- 本機は、HDMI入力およびD端子入力でのAV機器のタイミング(480i、480p、1080i、720p、1080p)の入力信号を表示することができます。
但し、480iの信号が入力された場合はコンテンツによってはちらつきが発生する場合がありますので、AV機器側の解像度設定を他の信号タイミング(480p、1080i、720p、1080p)に切り替えてご使用ください。

Plug&Play機能

VESAのDDC（Display Data Channel）2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に適切な画面が自動的に設定されます。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能（NTAA: No Touch Auto Adjust）

（800×600以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節実行中」の文字が表示されます。

お知らせ

- アナログ入力信号（D-SUB入力）のみ機能します。

自動調節 実行中

NTAA実行中画面

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

- この機能はVESA DPM対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ →P10
通常動作時	57 W	青色点灯
スリープモード時	0.5W以下（AC100V時）	青色点滅

水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

故障かな？と思ったら

表示されないときは…

このようなときは、チェックしてください。

症 状	状 態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P10, P12
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P22, P23
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	—
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	—
		電源自動オフを設定していませんか？その場合は、再度電源ボタンを押してください。	P35
	電源ランプが点灯している場合	「MENU」ボタンを押してOSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P30
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P49
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は、「画質」メニューの「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P12, P31
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17, P41
		HDCP対応の機器を接続し画面が映らない場合は、接続機器の電源を入れ直してください。	—
	電源ランプが点滅している場合	消画モードを「する」に設定していませんか？	P35
		本機の故障である可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P49
		パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P42
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P17
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P17
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	—
		入力選択が合っていない可能性があります。本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンで映像入力を切り替えてください。	P10, P12 P36

もくじ

ご使用の前に

安全のため

お使いの上

各部のき

使用準の備

機能

困った

付録

解用説語

いさんく

表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処	参照
突然画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになり、表示しなくなった場合	信号ケーブルの接続が外れていませんか？接続されている全てのケーブルを抜いて再接続してください。	P17
		オフタイマー機能により電源が自動的にオフしていませんか？再度電源スイッチをオンしてください。	P35
		電源自動オフ機能により電源が自動的にオフしていませんか？再度電源スイッチをオンして設定を確認してください。暗い環境や明るさセンサーが遮光されている場合、電源自動オフが動作することがあります。	P10, P35 P36
		新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ※液晶ディスプレイに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。	P49
表示状態がおかしい	画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P9
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	線の太さなどがぼやける	1920x1080以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。PCの出力解像度を1920x1080に設定してください。 または、OSD画面により「シャープネス」を調節すると軽減できる場合があります。 アナログ接続の場合は、「オートセットアップ」を実行すると軽減できる場合があります。	P26, P41
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P8, P54
	画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色相の変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P24, P54
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので故障ではありません。	P8, P54

表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	表示が横長に伸びている	1920x1080以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。PCの出力解像度を1920x1080に設定してください。 または、OSD画面により「画面サイズ」を「アスペクト」に設定してください。	P12, P32, P41
	AVタイミング480iの信号を入力した際に画面がちらつく	480iの信号が入力された場合はコンテンツによってはちらつきが発生する場合がありますので、AV機器側の解像度設定を他の信号タイミング（480p、1080i、720p、1080p）に切り替えてご使用ください。	P41
	表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P30
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P49
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は、「画質」の「USER」を選択し、お好みで色の割合を調節するか、「オールリセット」で工場出荷設定に戻してください。	P31, P36
		● OSD 画面が正常に表示され、色を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17, P41
		● ケーブルの接続不良で発生する場合があります。 接続状態を再確認してください。	P17
		● オーバードライブを「1」または「オフ」に設定して使用してください。	P32
	OSD画面の表示色がおかしくなったり、線の太さが変わったりする	色あい、色のこさなどを調節したり、超解像設定、ダイナミックコントラストなどの機能をオンにするとOSD画面表示状態に影響を与える場合があります。 映像処理の特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P17
	画面がちらつく（上記以外の場合）	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P30
	→次ページへ続く	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P49
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「調整」の「位相」を選択し調節してください。	P33
		● OSD 画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17, P41

もくじ

ご使用に
前の

安全に
：
た

使用上の
の

各部分の
き

使用
準
の
備

機能

と困った

付録

解用
説語

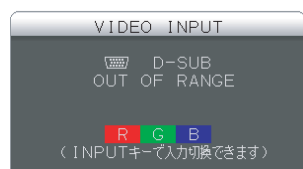
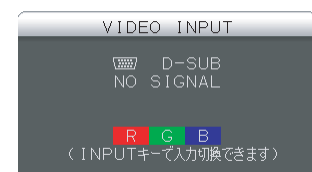
いさく

表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	画面がちらつく（上記以外の場合）	● 上下にちらつく場合は、PCのリフレッシュレートを60Hzに設定してください。	—
	→前ページからの続き	● 超解像オンの場合、コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。超解像設定を変更してください。	P32
		● オーバードライブが「オン」（「1」または「2」）の場合、コンテンツによってはちらつく場合があります。オーバードライブを「オフ」してください。	P32
	画面が切れている（全て表示されない）	オーバースキャンを「しない」に設定してください。	P33
	画面中央を境界にして左右で画面が異なる	工場調整画面になっている可能性があります。「オールリセット」をおこない工場出荷時設定に戻してみてください。	P36

案内画面／注意画面が表示されたら…

症 状	原 因	対 処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された※ ¹	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	P17
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	—
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	—
	コンピューターのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P42
	HDCP 対応の機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒程度お待ちください。	—
画面に「OUT OF RANGE」が表示された※ ²	本機が対応していない信号が入力されている可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P41
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P41



- ※¹ コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。
- ※² コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症 状	原 因	対 処	参照
解像度や色数が変更できない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	P10
	Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップのインストールが必要な可能性があります。	Windows®セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P27
	Windows®セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOS®をご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	—
スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	正しく接続されているか確認ください。	P19
	ヘッドホンが接続されている場合、スピーカーから音は出ません。	ヘッドホンを外してください。	P21
	音量が最小になっている、または消音機能がオンになっている可能性があります。	リモコンで消音設定を解除する。または、OSDメニューの「音声:」で音量を調節する。あるいは消音メニューで「しない」を選択してください。	P12, P34
	「音声選択」で「PC」が選択されている可能性があります。	HDMIおよびD端子接続時には「音声選択」で「自動」を選択してください。	P34
AV機器の映像が何も映らない！または、画面に「NO SIGNAL」が表示された	一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒（5～30秒）お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。 ● 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。 ● 一旦、電源コードを含む全てのケーブルを抜き、接続し直してください。 ● 映像機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。	—
		入力選択が合っていない可能性があります。本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの映像入力を切り替えてください。	P10, P12 P36
リモコンで操作できない リモコンが効きにくい	電池が消耗している可能性があります。	電池(CR2025)を交換してください。	P10, P12, P13
	リモコンの赤外線が届かない場所で操作している可能性があります。	画面に近づくか、より真正面に近い角度から操作してください。	
	リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できない場合があります。	障害物を取り除いてください。	
	リモコン送信部または本機の受光部が汚れている可能性があります。	汚れを拭き取ってください。	
	リモコンの電池の＋が逆に入っている可能性があります。	電池の向きを確認してください。	P3
	EASYCOLOR!2が起動している場合、リモコンが効きにくくなる場合があります。	EASYCOLOR!2を終了してください。	
	操作ロックされていませんか？	操作ロックを解除してください。	P40

もくじ

ご使用に
前の

安全に
全
た

お使用
上の

は各
た
ら
の
き

使用
準
の
備

機能

と困
った

付
録

解
用
説
語

い
さ
ん
く

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社は環境保護に強く関わっていきます。環境に対する影響を最小限にするために、リサイクルシステムを会社の最重要課題の一つとして考えております。また、環境に優しい製品の開発と常に最新のISOやTCOの標準に従って行動するよう努力しています。

当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社ホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお問い合わせは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
TEL 03-3455-6107 www.pc-eco.jp	TEL 03-3455-6106 www.diarcs.com
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様のPCリサイクルシール申込

“PCリサイクルマーク”の表示が無い三菱ディスプレイでも、下記のリサイクル窓口ホームページより、お申し込みいただければ“PCリサイクルシール”を無償でお送りいたします。

リサイクル窓口ホームページ； www.pc-eco.jp	ご注意： 法人（事業者）のお客様で、ご購入頂いた三菱ディスプレイは、PCリサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。
画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。	

リモコンのリチウム電池を廃棄するには

- 一般の方が使用済みリチウム電池を廃棄する時は、一般の不燃ゴミとして廃棄して良いことになっています。但し、乾電池と同様に自治体によっては処理の仕方が異なる場合がありますので、その指示に従ってください。
- 事業者がリチウム電池を廃棄する時は、事業者が契約している廃棄処理業者に依頼してください。
- なお、リチウム電池を廃棄する時は、電池容量が残っていると他の金属と接触して発熱、破裂、発火の恐れがありますので、リチウム電池の **+** **-** 端子部を図に示すようにセロハンテープなどで絶縁してください。

危険防止のために

リチウム電池廃棄時のお願い！



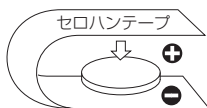
警告

リチウム電池の廃棄を誤ると、ショートして発熱、破裂、発火することがあり、ケガをしたり、火災に至る恐れがあります。

電池を廃棄する時

リチウム電池の **+** **-** 端子部を図に示すようにセロハンテープなどで絶縁してください。

(例)



保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

技術相談窓口 (携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可)	修理相談窓口 (携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可)
 フリーダイヤル 0120-71-3322	 フリーダイヤル 0120-08-1460
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------|
| ● お名前 | ● 製造番号 (本機背面のラベルに記載) |
| ● ご住所 (付近の目標など) | ● 故障の症状、状況など (できるだけ詳しく) |
| ● 電話番号 | ● 使用状況 |
| ● 品名: 三菱液晶ディスプレイ | (PCおよびグラフィックボード (メーカー、形名)、 |
| ● 形名: RDT232WX (BK) / RDT232WX-S (BK) | 解像度、入力信号 (アナログ、デジタル) など) |
| | ● 購入年月日または使用年数 |

- 無料出張サービス規定
この製品をお買い上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット (現品とは異なる場合があります。) を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

- お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
 1. お問合せ (ご依頼) いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
 2. 上記利用目的のために、お問合せ (ご依頼) 内容の記録を残すことがあります。
 3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
 - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
 4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

もくじ

で
使
用
に
の

め
安
に
全
の
た

お
使
用
上
の

は
各
た
部
ら
の
き

使
用
準
の
備

機
能

と
困
き
た

付
録

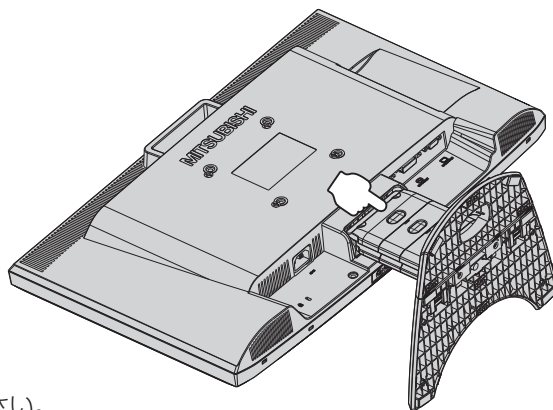
解
用
説
語

い
さ
く

再梱包するとき

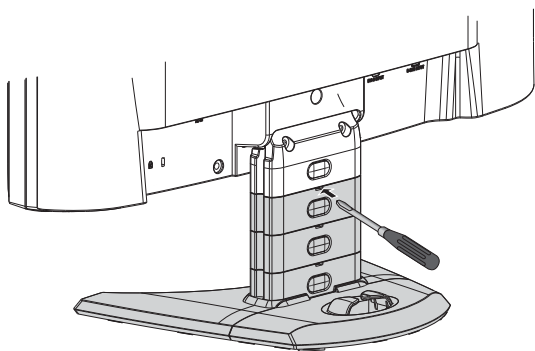
再梱包の際は次の手順でスタンドを取り外してください。

水平な机の上に本体表示部が下になるように置いてください。
図のようにブロックネック背面の最上部ロックボタンを指で
押しながらベース部（ブロックネックとベーススタンドを
組み合わせたもの）を外してください。
取外したベーススタンドとブロックネックは分離して再梱包
してください。



お知らせ

ブロックネックが容易に引き抜けない場合は、ブロックネック
背面の凹穴にマイナスドライバーを差し込んで分離させてください。



⚠ 注意

表示部を下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無いことを確認し表示部
を傷つけないように注意してください。

お願い

● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷つけないようにしてください。

市販のアームを取り付けるとき

本機にはVESA 規格に準拠した（100 mmピッチ）市販のアームを取り付けることができます。

お願い

- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約5.8kgです。）

お知らせ

- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

■ アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

- 1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源ケーブルを取り外してください。
その後、本体側のスタンドネックを取り付けている2本のネジを取り外し、スタンドを引き抜いてください。

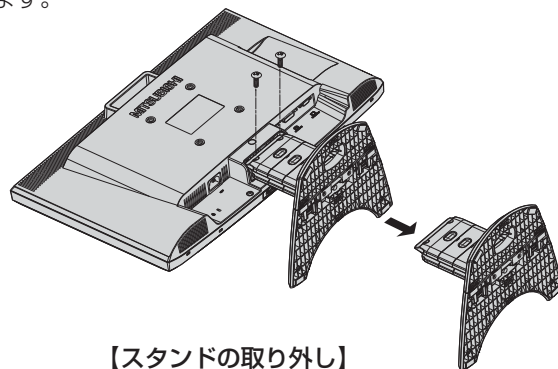
お願い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないように下向きに置いておこなってください。

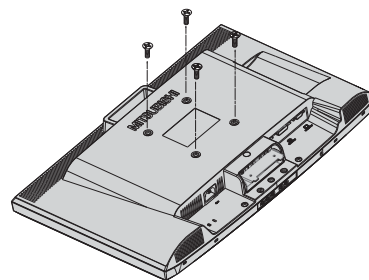
- 2 アームを取付ける前にVESA穴の4本の化粧用の皿ネジを取り外してください。

お願い

- スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。
その際は必ずスタンド取り付けに使用していたネジを使ってください。
仕様の異なるネジを使用されると本機が故障する原因になる恐れがあります。
- ネジを締め付ける際は付け忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。
なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。



【スタンドの取り外し】



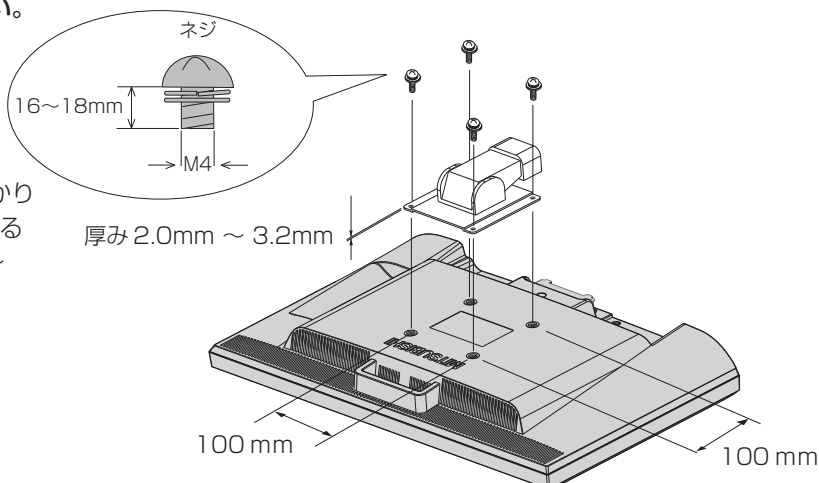
【VESA穴ネジの取り外し】

- 3 右記のようにアームを取り付けてください。

取付可能アーム：

取付部厚み 2.0mm ～ 3.2mm
VESA 規格準拠 100 mmピッチ

ネジゆるみ防止のため全てのネジをしっかりと締め付けてください。（但し、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98 ～ 137N・cmが適切な締め付トルクです。）



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部の注意

使用上の準備

機能

困ったとき

付録

用語説明

いさく

市販のアームを取り付けるとき（つづき）

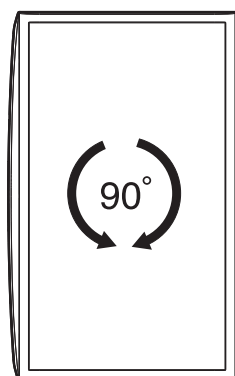
⚠ 注意

落下防止のために

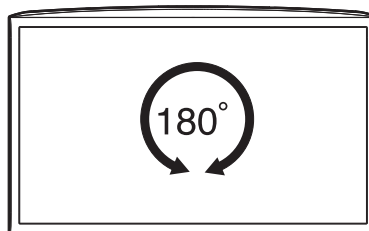
- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。
落下してけがの原因となります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談
願います。
万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。
万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

火災や感電防止のために

- アームを取り付ける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。
それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。
緩み止めスプリングワッシャ付き M4 ネジ（長さ 16～18mm）
- アームを取り付けて使用される場合でも、90° 回転や 180° 回転した状態で使用しないでください。
内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。



禁止

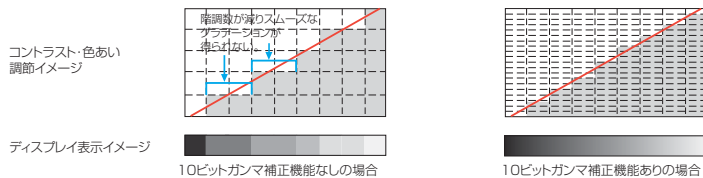


用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

10ビットガンマ機能 P3

RGB各色256階調の映像信号に、10ビットの多階調化されたルックアップテーブルを活用。より高精度なコントラスト・色あい補正を行うことができます。きめ細くなめらかな階調表現が得られるとともに、色の分解能が向上し、色補正に欠かせないガンマ補正を高精度に行うことができます。



CRオプティマイザー (CRO: Contrast Ratio Optimaizer) P32, P56

映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

DDC 2B 規格 (Display Data Channel) P42

VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI 規格 (Display Data Channel Command Interface) P56

ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DPM (Display Power Management) P42

VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DV MODE (Dinamic Visual MODE) P32、P38

表示する内容に合わせて適切な画面を選択する機能で、静止画が「スタンダード」「IVテキスト」「フォト」「sRGB」動画が「TV」「シネマ」の合計6つのモードから選ぶことができます。

DVI-A端子 (Digital Visual Interface-Analog) P17, P18

アナログ入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-D端子 (Digital Visual Interface-Digital) P17, P18

デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-I端子 (Digital Visual Interface-Integrated) P17, P18

デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能となります。

D端子 P11, P20, P56

DVDレコーダー／プレイヤーなどと接続ができる業界で統一された映像端子です。コンポーネント映像信号と映像フォーマットやアスペクト比などの識別信号を1本のケーブルで接続できます。本機にはD5映像端子が搭載されており、D1からD5までの映像フォーマットに対応しています。

分類名	映像フォーマット	走査線数	有効走査線数	走査方式
D1 (525i)	480i	525本	480本	インターレース
D2 (525p)	480p	525本	480本	プログレッシブ
D3 (1125i)	1080i	1125本	1080本	インターレース
D4 (750p)	720p	750本	720本	プログレッシブ
D5 (1125p)	1080p	1125本	1080本	プログレッシブ

GTG (Gray to Gray) P56

表示画面を変化させた時に、画面が切り替わる早さ（追従性）を応答速度といい、数値が小さいほど、高速応答となります。白→黒→白または黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計で表す場合が一般的ですが、動画表示には中間階調での変化に要する時間が短いことが要求されてきました。これを応答速度（GTG）と表します。

もくじ

で
使
用
に
の

め
安
全
に
：
：
：
た

お
使
用
上
の

は
各
部
の
き

使
用
準
の
備

機
能

と
困
き
た

付
録

解
説
語

い
さ
く

用語解説（つづき）

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection System） P56

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDMI（High-definition Multimedia Interface） P17, P18, P20

DVDレコーダー/プレイヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を1本のケーブルで接続できます。

LEDブライトネス P10, P36

電源ランプの輝度を調節する機能です。

Plug&Play P42

Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB規格 P32, P38

IEC(International Electrotechnical Commission)により規定された色再現国際規格です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもしやすくなります。

VESA 規格（Video Electronics Standards Association） P42, P51, P56

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相 P33

アナログ映像信号のA/D変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

オーバースキャン P32, P46

ディスプレイの表示画面において、入力有効画像の外周部を表示画面からはみ出した状態にすることです。（はみ出した部分は、画面には表示されません）通常のテレビは、オーバースキャンの状態です。

輝度 P56

単位面積あたりの明るさのことで、数値が大きいくほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比 P56

白と黒の明るさの比率を示す指標のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

コンポーネント映像信号（YPbPr信号） P3, P20

映像信号を輝度信号（Y）と色系統信号（赤系（Pr）/青系（Pb））に分けて送り、受け側の表示機器で画面に映すときに合成して映像にします。輝度信号と色系統信号が分けて送られるため、従来のアナログテレビ放送などで発生しやすい不要な色付きや色のにじみなど画質の悪化を抑えることができます。

サラウンド P34

聴覚の特性（いわゆる錯覚）を利用してステレオ環境だけでも多チャンネルの音に囲まれるような音響効果を再現する技術です。

残像 P8, P44

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角 P56

斜めから見た場合など、規定のコントラスト比が得られる角度のことで、数値が大きいくほど広い範囲から画像を見ることができます。

水平周波数／垂直周波数（リフレッシュレート） P41, P56

画面に表示される画像データは、走査線と呼ばれる線が集まって構成されています。

水平周波数：1秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数31.5kHzの場合、1秒間に走査線を31,500回表示するということです。

垂直周波数（リフレッシュレート）：1秒間に画面を何回書き替えているかを表します。垂直周波数が60Hzの場合、1秒間に画面を60回書き替えているということです。

用語解説（つづき）

ダイナミックコントラスト P32

映画に多い暗がりのシーンでは細部の描写がつぶれがちになります。
それを防ぐために、黒階調をバランスよく自動調節で強調し、階調再現性を向上させる技術です。

超解像 P3, P32

「擬似解像度変換」「ダイナミックコントラスト補正」「局所コントラスト」「階調数拡張処理」「ノイズリダクション」「色域変換」の複合でより解像度感を高めた画像に変換する技術です。

チルト角度 P24, P56

ディスプレイ画面を上向きや下向きに動かせる角度のことです。

ノータッチオートアジャスト／NTAA（No Touch Auto Adjust） P42

コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を適切な状態にする機能です。

パワーマネージメント機能 P42

コンピューターを使用しない時に本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度 P41, P56

一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

もくじ

ご使用に
前の

安全のた
め：：：：
に

使用上の
お願いの

各部分の
はき

使用の
準備

機能

困った
とき

付録

用語
解説

さく
いん

仕様

形名			RDT232WX (BK)	RDT232WX-S(BK)
外形寸法 (mm)				
液晶パネル	サイズ（表示サイズ）		23型 (58.4 cm)	
	液晶方式		IPS、ノングレア（反射防止）	IPS、グレア（光沢）
	有効表示領域		509.2× 286.4mm	
	表示画素数		1920 × 1080	
	画素ピッチ		0.265mm	
	表示色		約1677 万色（約10億6433万色中）	
	視野角		左右178°、上下178°（コントラスト比10）	
	輝度（標準値）		300cd/m ²	
	コントラスト比		5000：1（CRO非動作時 1000:1）	
	応答速度		3.8ms（GTG）※1	
PC入力	水平周波数		31.5 ～ 82.3kHz	
	垂直周波数		56 ～ 76Hz	
	ビデオ信号		デジタルRGB、アナログRGB	
	同期信号		TMDS、セパレート同期信号（TTL）	
	信号入力コネクター		デジタル入力：DVI-D（HDCP対応）、HDMI（2系統） アナログ入力：ミニD-SUB15 ピン	
ビデオ入力	解像度		480i、480p、1080i、720p、1080p ※2	
	信号入力コネクター (HDMIはPC入力コネクターと共用)		D5端子 HDMI（2系統）：デジタルRGB、デジタルYPbPr対応	
音声入出力	入力コネクター		Φ3.5mmステレオミニジャック、RCAピンジャック（L/R）	
	スピーカー		3W+3W（ステレオ）	
	ヘッドホン		Φ3.5mmステレオミニジャック	
適合法規格等	安全		電気用品安全法、S-TÜV	
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン	
	エルゴノミクス		ISO13406-2（準拠）	
	プラグ&プレイ		VESA DDC2B	
	その他		PCグリーンラベル(★★☆ 2010年度版)、J-Mossグリーンマーク、DDC/CI、Windows® 7	
使用環境条件	温度		5 ～ 35℃	
	湿度		30 ～ 80%（結露のないこと）	
電源	電源入力		AC100-240V 50/60Hz	
	消費電力	標準	57 W	
		省エネモード	スリープモード/オフモード時：0.5W 以下（AC100V時）	
	電源入力コネクター		3P IEC タイプ	
質量	ディスプレイ 本体	スタンド含む	約6.3kg	
		スタンドなし	約5.8kg	
キャビネット色			ブラック	
梱包状態（質量/寸法）			約7.4kg / 606 (W) × 407 (H) × 143 (D) mm	
チルト角度/スイーベル角度 / 高さ調節			上20°、下5° / 機能なし / ブロックネック x 3（30mm/段）	

お知らせ

- 本仕様は予告なく変更される場合があります。
- 解像度1920x1080以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- 本機の有効ドットの割合は、99.9995%以上です。
- 付属の電源コードは、国内100V商用電源対応です。
- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。
- ※1 特定階調レベル間（例：0,31,63,95,127,159,191,223,255）の各応答速度の平均値です。
- ※2 480iの信号が入力された場合はコンテンツによってはちらつきが発生する場合がありますので、AV機器側の解像度設定を他の信号タイミング(480p、1080i、720p、1080p)に切り替えてご使用ください。

さくいん

英数字

CRO(コントラスト調整タイマー)	32
DDC 2B 規格	42,53
DDC/CI	36
DDC/CI 規格	53
DPM	42,53
DVI-D 端子	17,18,53
DVI-I 端子	17,18,53
DVI-DーDVI-D ケーブル	4,17,18
DV MODE	32,38,53
D5 端子、D 端子	11,56
ECO PROF.	28,35
ECO 設定	28,35
ECO メーカー設定	28,35
GTG	53,56
LED ブライトネス	10,36
Macintosh	4,18
MENU/マボタン	10,26,28,30
NTAA (No Touch Auto Adjust)	42,55
NO SIGNAL	46,47
OSD 画面の構成	29
OSD 基本操作	30
OSD 機能一覧	31 ~ 37
OSD 表示時間	37
OSD 水平位置	37
OSD 垂直位置	37
OUT OF RANGE	46
Plug & Play	42,54
INPUT/EXIT ボタン	10,30
VESA 規格	42,51,54
Windows® セットアップ情報	27
<ボタン	10,26,28,30
>ボタン	10,26,28,30

あ

アフターサービス	49
アースリード線	5,23
安全のために必ずお守りください	5 ~ 7
明るさセンサー	10,36
赤色	31
青色	31
位相	33,54
色温度	31
色あい	31
色のこさ	31
オーバースキャン	32,46
オーバードライブ	32
オーディオケーブル	4,19
オートセットアップをする	26
オートセットアップ	33
オールリセット	36
オフタイマー	35
応答速度	53,56
音量	34

か

外形寸法	56
回収	48
解像度	41,55,56
画面サイズ	32,38
画面に何も映らない	43
画素ピッチ	56
ガンマ	3,53
角度を調節する	24
拡大・スモーキングファイン機能	42
簡易表示機能	42
各部のはたらき	10 ~ 13

輝度	54,56
黒白伸張	32
言語切換	37
ケーブルホルダー	11,22
コントラスト	31
コントラスト比	54,56
コネクターとケーブルの対応表	18
工場プリセットタイミング	41
黒点/輝点	44
個人情報の取り扱い	49
困ったとき	43 ~ 49
故障かな?と思ったら	43 ~ 47

さ

サイドボーダー	37
サラウンド	34,54
再梱包するとき	50
残像	8,44,54
使用上のお願い	8,9
仕様	56
信号入力コネクター	56
信号ケーブル	17 ~ 20
信号ケーブルを接続する	17 ~ 20
使用環境条件	56
修理相談窓口	49
視野角	56
市販のアームを取り付けるとき	51
垂直周波数 (リフレッシュレート)	41,54,56
水平位置	33
垂直位置	33
水平周波数	41,54,56
水平サイズ	33
推奨タイミング	41
シャープネス	32
消費電力	42,56
省エネ電力量リセット	35
消音	34
消画モード	35
入力自動切換	36
質量	56
スタンド	10,15,16,50,51
スピーカーから音が出ない!	47
スリープモード	42
接続	17 ~ 20
設置する	24
セットアップガイド	4
操作ロック	36,40

た

ダイナミックコントラスト	32
超解像	3,32,55
チルト角度	24,56
ちらつく	45
テストパターン	25
適合規格等	56
電源入力コネクター	11,22,56
電源ランプ	10,43
電源コード	4,22,23
電源スイッチ	10
電源を入れる	25
電源を接続する	22
電源電圧	23,56
電源プラグ	23
電源容量	22

盗難防止用ロック穴	11
同期信号	41,56

は

廃棄する	48
パワーマネージメント機能	42,55
バックライト	44
表示色	45
表示画素数	55
表示がおかしい	44 ~ 46
表示されない	43,44,47
ビデオ信号	55
付属品	4
ブロックネック	4,15,16,56
付録	50 ~ 57
ブライトネス	31
ブラックレベル	31
ヘッドホン端子	10,21
ヘッドホンを接続する	21
ベーススタンド	4,15,16,50
本体正面	10
本体背面	11
変換アダプター	17,18
保証とアフターサービス	49
保証書	4,49

ま

ミニ D-SUB15 ピン	4,11,17,18
緑色	31
ユーザーメモリー機能	41
有効表示領域	56
用語解説	53 ~ 55
リサイクル	48
リモコン	12,13
リモコン受光部	10
ロック解除	40

もくじ

で
使用
前に
の

安全
のた
め

お
使用
上の

は
各部
のさ
き

使用
の
準備

機能

と
困
った

付
録

解
説
語

い
さ
く



本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）

AW-P0804D